

担当科目	1) 現行授業の目標と教育効果	2) 自己評価	3) 授業改善・対応方法
S191061 専門ゼミナールⅡ	<p>① 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>② ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p> <p>③ TOEIC試験において、600点以上の得点を取ることができる。</p>	<p>本ゼミナールでは、特にTOEIC試験対策を行った。8名の学生たちの目標は、2019年9月に行われるTOEIC公開試験で600点以上のスコアを取得することとした。毎週のゼミでは、パート毎の学習を行い、ゼミの終了間際で語彙テストを実施した。TOEIC試験を受けたことがない学生が多かったため、最初のゼミと最後のゼミでは模擬試験を実施し、本番での受験指導を行った。その結果、TOEIC公開試験を受験した7人の留学生のスコアの中で、最高スコアは780点であり、最低スコアは455点で、平均スコアは529点であった。過去8年ほどTOEIC試験対策講座を担当してきた中では、日本人学生の755点が高得点であったので、これを上回る良い結果が出た。また、平均点が500点をクリアしたことも大きな収穫であった。</p>	授業評価
S191092 専門ゼミナールⅣ	<p>① 企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。</p> <p>② ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>本ゼミナールでは、毎週ゼミ生たちが書いてきた論文を全ゼミ生の前で順番に見直す指導を行ってきた。他のゼミ生が何を書いているのかがわかるようにし、自分の論文が他と比べてどうかを明らかにすることで、さらに論文の質を向上させるのが狙いであった。その結果、ほぼ全員の書く論文の質・量ともに上がっていき、ゼミ後半のミニ中間発表(一人5分間)をカンペなしで、自信を持って正々堂々と発表することができた。</p>	<p>授業評価: 5.00</p> <p>授業評価をした学生そのものが少なかったため、授業評価については何とも言えないが、毎週論文作成に取り組む学生たちの態度や姿勢を見ていると、全員がどんなテーマで取り組んでいるのかを明確にしたことが論文作成能力を向上させた一因であったと言えるのではないかと考えている。今後とも同じ指導方針で行きたいと考えている。</p>
S191005 経営の基礎Ⅰ	<p>① 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>② 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>③ 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p> <p>④ 高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスケジュール・スキルを身につける。</p>	<p>毎週、全体的な授業が1時間ほどあり、残りの30分程度で各ゼミに分かれてゼミ指導を行った。留学生の出身国は中国(11人)とネパール(7人)であったが、毎回、元気な笑顔を見せてくれたので、学生指導は大変し易かった。前期、最初の授業でゼミ生と一緒に写真を撮ったことがよい思い出である。留学生の何人かが「先生は留学生を差別しないので、安心した」と受講ノートに数回書いて提出してくれたことが印象的である。留学生たちの不安や悩みの相談役として取り組んだが、前期を通して何も問題がなかったことが一番良かったと言える。</p>	<p>授業評価 4.63</p> <p>留学生は毎回出席し、留学生とのコミュニケーションはよく取れていたため、特に改善すべき点はないと思われる。</p>
S191005 経営の基礎Ⅰ	<p>① 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>② 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>③ 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p> <p>④ 高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスケジュール・スキルを身につける。</p>	<p>毎週、全体的な授業が1時間ほどあり、残りの30分程度で各ゼミに分かれてゼミ指導を行った。留学生の出身国は中国(11人)とネパール(7人)であったが、毎回、元気な笑顔を見せてくれたので、学生指導は大変し易かった。前期、最初の授業でゼミ生と一緒に写真を撮ったことがよい思い出である。留学生の何人かが「先生は留学生を差別しないので、安心した」と受講ノートに数回書いて提出してくれたことが印象的である。留学生たちの不安や悩みの相談役として取り組んだが、前期を通して何も問題がなかったことが一番良かったと言える。</p>	<p>授業評価 4.63</p> <p>留学生は毎回出席し、留学生とのコミュニケーションはよく取れていたため、特に改善すべき点はないと思われる。</p>

L191026 英語コミュニケーションA (A1,SD2)	<p>①英語基礎力を確認することができる。</p> <p>②英語4技能の充実を図ることができる。</p> <p>③異文化、時事問題等幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>新年度当初、1クラス70人前後の学生を一度に教えられるかどうかが不安であったが、毎回準備万端の態勢で、かつ2人のSA(学生アシスタント)が非常によく協力してくれたので、特にこれといった問題はなく、スムーズに、かつ時間内に授業を進めることができた。毎週、授業の最初で前週の復習用の小テストを行うのであるが、スタートをきっちりと開始して、5分後きっちりと終了することができたことが良かった。担当する4クラスの進め方に違いが決して出ないようにすることが一番困難であったが、なんとか差をつけることなく、15週間続けることができた。</p>	<p>授業評価 4.30</p> <p>このクラスは建築学科1年生のクラスで、4クラス中、毎回小テストの得点が1番高かった。それと授業評価点と関連していると思われる。学生たちはきちんと取り組んでくれた。ただ、履修者が多いため、ペアワークやグループワークを十分に取り入れることができなかったことが次年度以降の課題になる。</p>
L191024 英語コミュニケーションA (SD1)	<p>①英語基礎力を確認することができる。</p> <p>②英語4技能の充実を図ることができる。</p> <p>③異文化、時事問題等幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>新年度当初、1クラス70人前後の学生を一度に教えられるかどうかが不安であったが、毎回準備万端の態勢で、かつ2人のSA(学生アシスタント)が非常によく協力してくれたので、特にこれといった問題はなく、スムーズに、かつ時間内に授業を進めることができた。毎週、授業の最初で前週の復習用の小テストを行うのであるが、スタートをきっちりと開始して、5分後きっちりと終了することができたことが良かった。担当する4クラスの進め方に違いが決して出ないようにすることが一番困難であったが、なんとか差をつけることなく、15週間続けることができた。</p>	<p>授業評価 4.05</p> <p>このクラスはスマートデザイン学科1年生のクラスで、4クラス中、毎回小テストの得点が2番目に高かった。それと授業評価点と関連していると思われる。学生たちはきちんと取り組んでくれた。ただ、履修者が多いため、ペアワークやグループワークを十分に取り入れることができなかったことが次年度以降の課題になる。</p>
L191025 英語コミュニケーションA (S2)	<p>①英語基礎力を確認することができる。</p> <p>②英語4技能の充実を図ることができる。</p> <p>③異文化、時事問題等幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>新年度当初、1クラス70人前後の学生を一度に教えられるかどうかが不安であったが、毎回準備万端の態勢で、かつ2人のSA(学生アシスタント)が非常によく協力してくれたので、特にこれといった問題はなく、スムーズに、かつ時間内に授業を進めることができた。毎週、授業の最初で前週の復習用の小テストを行うのであるが、スタートをきっちりと開始して、5分後きっちりと終了することができたことが良かった。担当する4クラスの進め方に違いが決して出ないようにすることが一番困難であったが、なんとか差をつけることなく、15週間続けることができた。</p>	<p>授業評価 4.06</p> <p>このクラスは総合経営学科1年生の(学籍番号前半)クラスで、4クラス中、毎回小テストの得点が2番目に高かった。それと授業評価点と関連していると思われる。学生たちはきちんと取り組んでくれた。ただ、履修者が多いため、ペアワークやグループワークを十分に取り入れることができなかったことが次年度以降の課題になる。</p>
L191022 英語コミュニケーションA (S1)	<p>①英語基礎力を確認することができる。</p> <p>②英語4技能の充実を図ることができる。</p> <p>③異文化、時事問題等幅広い内容に触れることができる。</p>	<p>新年度当初、1クラス70人前後の学生を一度に教えられるかどうかが不安であったが、毎回準備万端の態勢で、かつ2人のSA(学生アシスタント)が非常によく協力してくれたので、特にこれといった問題はなく、スムーズに、かつ時間内に授業を進めることができた。毎週、授業の最初で前週の復習用の小テストを行うのであるが、スタートをきっちりと開始して、5分後きっちりと終了することができたことが良かった。担当する4クラスの進め方に違いが決して出ないようにすることが一番困難であったが、なんとか差をつけることなく、15週間続けることができた。</p>	<p>授業評価 3.85</p> <p>このクラスは総合経営学科1年生の(学籍番号後半)クラスで、4クラス中、毎回小テストの得点が1番目に低かった。それと授業評価点と関連していると思われる。学生たちはきちんと取り組んでくれた。ただ、履修者が多いため、ペアワークやグループワークを十分に取り入れることができなかったことが次年度以降の課題になる。</p>

S192028 ビジネス英語	<p>①来客対応、電話対応、取引文書、社交文書、Eメールレター、英文校正、スケジュールリング、および履歴書などの書き方など、ビジネス英語の基礎となる知識と機能を習得する。</p> <p>②一通りのビジネス英語の基礎、および基本的なビジネスのマナーをマスターすることです。将来のキャリアに必要な資格を取得し、専門的スキルを活用できるようにする。</p>	<p>この授業では、基本的に英語を用いて授業を進めていく予定であったが、かなり英語が苦手な学生がいたため、日本語を半分使用しながら授業を展開していくことになった。ペアワークを随所に取り入れたが、ペアになることを拒否する学生がいたので、なかなか上手くスムーズに進めることができなかった。留学生(中国人、ネパール人)たちがこちらの質問に対して積極的に答えてくれたり、大きい声で音読練習に参加してくれたことはビジネス英語の学習環境作りに一役かったが、日本人学生の消極的な姿勢との違いの大きさを埋めることはできなかった。</p>	<p>授業評価 3.63</p> <p>留学生と日本人学生の評価を足して、2で割ったような評価だと考えられる。学ぶ気持ちを持っている留学生と最初から英語嫌いの日本人学生との混合クラスでは、互いに英語力を伸ばすことは難しいと思われる。また、月曜日1限の授業という極めて欠席者や遅刻者が多くなる時間割設定を2限以降に移動させることを考慮すべきだと言える。</p>
S192101 専門ゼミナールⅢ	<p>①経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>②ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>本ゼミナールでは、ビジネスにおいて不可欠である異文化コミュニケーション力とは何かについて調査・研究を行い、グループで口頭発表することをメインの学習内容としている。8人のゼミ生の内訳は、ネパール人留学生2人、中国人留学生4人、ベトナム人留学生1人、日本人学生1人である。それぞれの国や文化的背景が異なる学生たちが2つのグループで、2つのテーマに向かって互いに協力して取り組むことを学習の柱とした。</p> <p>その結果、学生たちそれぞれの国のビジネス上の文化的特徴を見つけ出し、それが他の国の文化的比較をすることで、どんなことに注意をするとコミュニケーション力が身に付けられるかがきちんと発表できたように思われる。</p>	<p>授業評価</p>
S192090 卒業研究	<p>①企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。</p> <p>②ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>毎回テキストに基づいて、論文作成のステップ・バイ・ステップ方式で授業を展開した。受講生は毎週書いてきた論文を受講者全員の前で読みながら、修正すべき箇所を述べる。それを持ち帰って、次週修正した論文を持ってきて、再度受講生の前で読み上げ、修正箇所が本当に修正されているのかを確認するという一連の作業を行った。</p> <p>中間発表会や卒論審査発表会では、事前に何度もリハーサルを行い、パワーポイントのスライドの修正を行い、時間内に発表できるようになるまで、繰り返し繰り返し練習をさせた。</p>	<p>授業評価</p>
L192031 英語表現Ⅱ	<p>①日常生活のいろいろな場面において、コミュニケーション・ストラテジーを駆使しながら、英語で積極的かつ円滑にコミュニケーションをとる態度と技能を身につける。</p> <p>②さまざまな状況において英語で積極的に話しかけ、応答できるような姿勢を身につける。</p>	<p>毎週、テキストのユニットの流れに従って授業を展開した。この授業では、ほぼ英語を使って進めることができた。また、留学生(中国、ネパール、ベトナム)が多く履修してくれたので、日本人学生だけの英語授業と比較して積極的・意欲的な授業に発展することが多い、大変充実した授業になった。</p> <p>ペアワークやグループワークを毎回取り入れ、単語の発音練習や会話とエッセイの音読練習を行うことで、ある程度高度な英語の授業を展開することができた。</p>	<p>授業評価 4.01</p> <p>留学生と日本人学生の評価を足して、2で割ったような評価だと思われる。学ぶ気持ちを強く持っている留学生と最初から英語学習に消極的な日本人学生との混合クラスでは、互いに英語力を伸ばすことは難しいと思われる。</p>

S192049 異文化コミュニケーション	<p>①普段何気なく接している物事について客観的に見直すきっかけを提供し、文化や社会制度の違い、その背景や理由を英語で理解し説明できる。</p> <p>②さまざまな文化的背景をもった人々が英語を通して互いを理解し合うことです。将来のキャリアに必要な資格を取得し、専門的スキルを活用できる。</p>	<p>毎週、テキストのユニットの流れに従って授業を展開した。この授業では、ほぼ英語を使って進めることができた。また、留学生(中国、ネパール、ベトナム)がほとんどであったので、唯一の日本人学生が「とてもためになります」と言うほど充実した授業になった。ペアワークやグループワークを毎回取り入れ、単語の発音練習や会話とエッセイの音読練習を行うことで、ある程度高度な英語の授業を展開することができた。</p>	<p>授業評価 4.33</p> <p>受講生はこの授業である程度満足感を得られたのではないと思われる。クラスGPAが3.0を優に超えていたので、受講生の成績が良いことと授業評価は大いに関連していると考えられる。</p>
S192006 経営の基礎Ⅱ	<p>①他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>②経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>③講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p> <p>④高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスケジュール・スキルを身につける。</p>	<p>前期に引き続いて、毎週、全体的な授業が1時間ほどあり、残りの30分程度で各ゼミに分かれてゼミ指導を行った。毎回、元気な笑顔を見せてくれていたが、授業の中盤あたりから休みがちな留学生が1人出てきた。何度も連絡をして、何とか授業に出席するようになったが、長くは続かなかった。ただ、後期、最後の授業でゼミ生と一緒に写真を撮ったことがよい思い出である。留学生の何人かが「次年度のゼミは、先生のゼミを取りたい」と言ってくれた留学生が5人もいたことが印象的である。留学生たちの不安や悩みの相談役として取り組んだが、後期は問題を抱える留学生がいたと言える。</p>	<p>授業評価 5.00</p> <p>留学生とのコミュニケーションはよく取れていたため、特に改善すべき点はないと思われる。</p>
L192018 英語コミュニケーションB (A,SD)	<p>①日常生活のいろいろな場面において、コミュニケーション・ストラテジーを駆使しながら、英語で積極的かつ円滑にコミュニケーションをとる態度と技能を身につけることができる。</p> <p>②さまざまな状況において英語で積極的に話しかけ、応答できるような姿勢を身につける。</p>	<p>毎週、テキストのユニットの流れに従って授業を展開した。この授業では、ほぼ英語を使って進めることができた。また、留学生(中国、ネパール、ベトナム)が多く履修してくれたので、日本人学生だけの英語授業と比較して積極的・意欲的な授業に発展することが多い、大変充実した授業になった。ペアワークやグループワークを毎回取り入れ、単語の発音練習や会話とエッセイの音読練習を行うことで、ある程度高度な英語の授業を展開することができた。</p>	<p>授業評価 4.11</p> <p>留学生と日本人学生の評価を足して、2で割ったような評価だと思われる。学ぶ気持ちを強く持っている留学生と最初から英語学習に消極的な日本人学生との混合クラスでは、互いに英語力を伸ばすことは難しいと思われる。</p>
教育行政	<p>現代の学校教育に関する社会的、制度的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。また、文部科学省・教育委員会等の教育行政機関の役割について理解でき、一般行政と教育行政との関わりについて理解する。</p>	<p>今日の教育制度や教育施策について、授業においてはできるだけ具体的な問題をとりあげながら考察させたが、教育行政に対する基礎的な知識と幅広い視野にける学生も多く表面的な理解に終わった学生も多く、前提となる基礎知識を学生にいかにか身に付けさせるかの点で課題があった。</p>	<p>教育行政の内容を実際の学校運営や教師の職務に関連付けを理解し説明することができるような事例研究を今まで以上に設定し、レポート提出や発表の場面を取り入れていく。</p>

<p>教職論(教育課程の意義及び編成の方法を含む)【新カリ】AS</p>	<p>教職について関心を持ち、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容・研修等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。現在の学校現場が抱える多様な問題の状況を把握すると同時に学校の教職員構造の転換(チーム学校の実現)の方策についても理解する。教育課程の意義、教育課程の歴史の変遷、果たす役割をとらえ、学校における教育課程の編成の重要性をとらえるとともに、新しい学力観に基づいた教育課程の方向に関心を持って対応できる能力の育成を図る。</p>	<p>教職の意義や教員の役割について概説し、教職への意欲や適性等について多角的に考察する機会を設けたが、グループワークや発表の時間をとることができず、自ら教員として、当事者として取り組む姿勢や態度を育成できなかったことが課題である。</p>	<p>教員の職務内容等について、具体的実践的に理解できるように演習やグループ討議などを行い、当事者としての意識を持てるように授業計画を工夫する。</p>
<p>教育方法論</p>	<p>教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。「横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して」とされていた総合的な学習は「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して」とより明確化された。この授業では総合的な学習の時間の目標、評価について意義、計画、指導、評価に関する基本を身につけることを目標とする。</p>	<p>授業計画で、前半は講義形式で、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付け、後半は演習形式で学習指導案の作成、ミニ模擬授業の実施で学生は主体的に学習を進めることができた。時間不足もあり、総合的学習の時間の学習指導案の作成などについては不十分であった。</p>	<p>今後、現場で必要が高まるICT機器を実際の授業にどのように取り入れていくか、学習計画での導入のプラン、実際の模擬授業での使用法などを身に付ける場面を多く取り入れていきたい。総合的な学習については、なかなか学習の場面を学生には想起できないので、学校現場の訪問などを通じて深めていきたい。</p>
<p>公民科教育法 I (S)</p>	<p>公民科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された公民科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法(学習指導案の作成)を身に付け、それをもとに実際の授業ができる能力をもに付ける。</p>	<p>公民科の授業をする上で、本学の学生が不足している教科の知識を補うことができず、指導案の作成、および模擬授業では授業の構造化がうまくできずメリハリのない授業が多いのが反省点である。授業方法ではICT機器を効果的に使用したり、発問ができた学生がいた点は評価できる。</p>	<p>公民科の基礎的な知識を確認する課題を与えて教科に関する知識を補うことなどを考えていきたい。学生が行う授業で学習目標を明確にするために、その授業に対応する評価問題の作成を通じて明確にしていきたい。</p>
<p>教職実践演習(中・高)</p>	<p>教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認することを目的とする。</p>	<p>教育実習を全員が無事終了し、教師としての自信と自覚が多く多くの学生が持つことができ、授業における様々な事例研究の議論や発表において教師としての見方、考え方で進めることができたようになった、しかも内容は実践的で中身の濃いものであった。校外の学校見学・観察などにおいても教師としての言葉遣い、礼儀、振舞い方ができるようになった。</p>	<p>大学の校内の授業では、この科目の意図である現場ですぐに活動できるスキル・知識を育成することに限界もあり、今後は校外の授業の研究発表会への参加や高等学校訪問など機会を現状より多く設定したい。</p>

事前事後指導	実習生は学ぶ生徒である立場と教える先生の立場とを兼ね備えるという視点から、この二つの立場の本質を理解することを重点にします。外部の学校での実習に臨むために、本校の学生としてふさわしい態度、言葉づかい、あいさつ等一般社会での常識を習得し、人間性を磨くことを含めて行います。教師としてふるまい、学習指導案の作成と生徒の前で授業が出来る指導と実践ができる。教育実習をスムーズにできるようにすること。	少人数で教育実習を直前に控え、学生も欠席もなく前向きに取り組み、学習指導案の作成、模擬授業なども高いレベルで実施でき、学生もある程度の自信をもって教育実習の取り組むことができた。また、実習中の流れと心得を実務、実践レベルでまとめたパワーポイントの教材は学生に好評であった。	最近の学校現場を踏まえた授業形態、特にICT機器(実物投影機、タブレット、パワーポイントなど)の効果的な利用法を、講義だけでなく実際に使用させる授業も取り入れていく。
歴史学	歴史学の研究を通して、自分の属する世界を、自分一人の体験できる範囲を越えて、歴史的な時間と空間の中に自分位置づけることができるとともに、自分の関心のある歴史的な出来事について理解し、解釈し、記述できるようになることを目指します。歴史的な出来事ばかりか、広く社会事象に関心を持ち、分析・整理し、自己の意見を発表することができる。	100名を超える履修者で、個々の学生の理解度や関心を踏まえた授業ができず、一方的な講義になった場面も多く学生の満足度も低かった。地域をテーマにした講義では、学生の関心度も高く、取り組みも熱心なところもあり、学生に関心興味をもつ授業計画の必要性を感じた。	事前に学生が関心を持つテーマをアンケート調査し、それを踏まえた授業計画を準備することによって学生の授業参加意欲を高めた。グループワークやロールプレイなども取り入れたをとり入れた授業も工夫した。
S191014経済学概論	公民分野の学校教育で必要とされる国際標準的内容の経済学を一通り学習し、基本的な知識を修得することを到達目標としている。講義では、主として国全体の経済を考えるマクロ経済学、個人や企業の行動と市場の価格メカニズムの理論であるミクロ経済学の基礎理論を学習し、基礎理論に基づいて日本経済の諸問題についての理解を深めることを目標とした。	公民、商業の教職科目ということで、教職に就く意思のあることが基本であり、受講者3名の少人数授業となった。また、知人同士でもないようであった。その結果、授業中、私語もなく、出席率はほぼ100%であった。毎回の講義資料中の空欄の答えを質問する形式の授業を行った点は、受講生の集中力を維持する上で効果があったと思う。反省点としては、最新の経済の話題・議論を扱うことが不十分だったことである。評価平均点4.0。	2020年度からの新カリキュラムでは、本科目は、卒業認定単位に含まれる科目となったため、2019年度までの少人数授業から大規模授業科目となるため、これまでの授業方法を大きく変えることになる。大人数を前提とした授業運営に切り替えることが必要である。
S191067 専門ゼミナールⅡ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできるようになることを目標とする。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	経営学というよりも、一般的な判断力、推理力を身につける基礎的な方法についての演習を行った。具体的には、フェルミ推定等である。新鮮さはあったかと思う。授業評価4.0。硬式野球部の主力メンバーが多い割には、リーグ戦中の欠席は少なかった。野球部員と一般学生との間に溝はなかったと思うが、交流が少なかったことは事実であり、指導する上での課題であることは認識している。	授業で扱う素材としては、ビジネス基礎的な内容で問題ないと思う。野球部員と一般学生の交流を促すような運営を心掛けたい。
S191098 専門ゼミナールⅣ	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができることを目標とする。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	就職活動と卒論準備の両立を支援することを心がけた。卒論の意義の理解から出発する必要がある、前半はペースが遅めであった。しかし、就職先内定後は執筆の準備に取り掛かる学生が着実に増えた。	研究テーマを自分で見つけられない学生が多かった。テーマの絞り込みができるような誘導の仕方が重要かと思う。データの収集方法や事例の探し方を、4年生前期に指導することが重要であると思った。
S191098 専門ゼミナールⅣ	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができることを目標とする。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	就職活動と卒論準備の両立を支援することを心がけた。卒論の意義の理解から出発する必要がある、前半はペースが遅めであった。しかし、就職先内定後は執筆の準備に取り掛かる学生が着実に増えた。	研究テーマを自分で見つけられない学生が多かった。テーマの絞り込みができるような誘導の仕方が重要かと思う。データの収集方法や事例の探し方を、4年生前期に指導することが重要であると思った。

S192043 経済政策	現在の日本で採られているさまざまな経済政策や繰り広げられている政策論争に対し、経済学的な見方で評価・分析できるようになることを到達目標とする。経済政策の標準的な理論と日本の現在の経済政策上の論点についての考え方について理解してもらうことも、この講義の目的である。	現実の経済政策の検討の前に、GDPの定義等、基礎的な経済概念や経済数値を身につけてもらうことが必要であった。その意味では、入門的な教科書を利用したことは適切であった。公的年金や社会保険の問題が重要になって来ているが、扱った回数が十分ではなかった。	公的年金や社会保険等、少子高齢化社会が進行していく中で重要性が増しつつある諸問題の検討ウェイトを高め、受講生の今後の社会生活の中でも有益な講義内容を展開したい。
S192045 財務管理論	企業の財務部門に配属された場合や自ら起業する場合に必要な基礎知識や考え方を修得することが目標である。財務管理論は、企業を経営するために必要な投資、資金調達、利益分配の基本原則に関する学問領域であり、主として株式会社の起業および経営に必要な理論および実務を身につけることができる。	100名ほどの受講者であったため、資料の印刷が大変であった。適切な教科書がないため、やむを得ないことではあるが、企業活動の中でも、資金調達や資本構成は、一般の学生にはイメージしにくい分野である。そのため、仮設例や実際のケースを紹介することに力を入れた。	財務管理論は、株式会社の資金の使い方や集め方について研究する学問分野である。実務的な手続きの修得も重要であるが、まず企業経営全体との関係や金融資本市場との関係を視野に入れた基礎原理を修得することが有益である。そのために、基礎概念である資本コスト、現在価値、リスクとリターンについて理解が欠かせない。この基礎的な部分の講義回数を増やすことが必要である。そうした内容を、受講生の関心を引くような現実の話題の中で展開することが重要である。
S192071 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントでき、ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培うことを目標とする。	就職活動が近づく時期でもあり、受講生が企業で働くことの意味についての理解を深めるよう指導した。しかし、プレゼンテーションの機会が少なかつた点は反省している。基礎的な文章作成能力はあっても、学術的な論説文の執筆経験が乏しい学生が多かった。	経営学、経済学の基本は学習した段階の学生を対象とした授業であるので、それらの知識を現実の企業の分析や経済問題の理解につながるような応用力を身につけてもらうよう指導することが重要であると考え。
S192096 卒業研究	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。具体的内容としては、卒業論文執筆要領を遵守し、学術論文の基本的条件を満たす論文を作成する。そして、中間発表、最終発表で、発表、質疑応答を行う。	卒業論文作成のための資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションを行うことを中心とする予定であったが、学生の進捗度がばらばらであったため、個別指導に偏りがちであった。参考文献の書式や文献引用の仕方など、基礎的な部分での準備が必要であると思った。基本的な発表能力を備えた学生たちであったので、発表面では問題は少なかつたが、共同研究の部分の意味がよくわかっていない学生が多かった。その部分の指導の必要性を認識した。	卒業論文作成のための資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションを行いたい。学生の進捗度を考慮しつつ、統一的な指導を心がける。参考文献の書式や文献引用の仕方など、基礎的な部分での準備を前期から行うこととする。
S191009 経営の基礎Ⅰ	達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	学生どうして話し合う機会を多く設けることで、互いのコミュニケーションを深めることができた。さらに、個人面談も丁寧に行った。1年生の前期科目として、高校生から大学生への移行をスムーズに行う目的は十分に達成されたと考える。	授業評価4.03 今後は、経営学の基礎となる知識を身につける機会を増やしていきたい。
S191025 ファイナンス入門【開放】	達成目標 パーソナル・ファイナンスに関する基本用語を理解し、説明することができる。 パーソナル・ファイナンスの知識に基づき、自分に必要な金融商品を選択することができる。	社会人の準備段階にある受講生が充実した人生を送るために必要な「金融リテラシー」を身につけるための基礎づくりは概ね達成できたと考える。	授業評価4.23 今後はより話題性のあるトピックスをとりあげ、受講生が主体的に話し合いに参加できる機会をもっと増やしていきたい。
S191059 専門ゼミナールⅡ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	グループワークを中心に授業を進めることで、ビジネスパーソンとして必要な経営的思考方法や自分の考えを的確に伝えるプレゼン能力の向上を図ることができたと考える。	授業評価4.10 今後はより話題性のあるトピックスを取り上げ、学生のより主体的な取り組みを促し、ビジネス思考能力をさらに高めたい。

S191059専門ゼミナールⅡ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	グループワークを中心に授業を進めることで、ビジネスパーソンとして必要な経営的思考方法や自分の考えを的確に伝えるプレゼン能力の向上を図ることができたと考える。	授業評価4.10 今後はより話題性のあるトピックスを取り上げ、学生のより主体的な取り組みを促し、ビジネス思考能力をさらに高めていきたい。
S191079国際経済論	達成目標 貿易について理解し、貿易を通じて世界的な相互依存関係がさらに強まっていること、アジア太平洋地域との一体化がさらに進むことが理解できる。国際収支統計を活用して、将来の為替レートの動きを予想することができる。	貿易に関する講義を通じて、日本経済が国際的に直面している課題やグローバルな国際分業が進んでいる状況について、受講生の理解を深めることができたと考えている。	授業評価4.40 受講生の評価は概ね良好であった。今後は話題性のあるトピックをより多く取り上げ、リアルタイムで進行する国際経済を的確に把握する力が身につくように工夫していきたい。
S191090専門ゼミナールⅣ	達成目標 自分で設定したテーマについての研究成果を卒業論文にすることができる。	ゼミメンバーと幅広く議論しながら、各自の関心のある経営分野についてテーマ設定を行うことができた。さらに、研究テーマの先行研究についてリサーチさせ、卒業論文の構想をたてる段階まで進めることができた。	授業評価4.90 学生の評価は高い。 今後は、きめ細かい個別指導を通じて、研究テーマについて科学的により深く考察できるようにしていきたい。
S191107ファイナンシャル・プランニングⅢ	達成目標 不動産について学び、登記事項証明書からその土地や建物の物理的状況、権利の状態等を的確に読み取ることができる。	登記簿謄本の見本を使って、土地・建物の表示と法的権利関係を読み取ることができる知識を習得させることができた。誰もが経験する相続についても事例を取り上げながら、法的知識や手続きについて具体的にわかりやすく説明することができた。	授業評価4.76 学生の評価は概ね良好である。今後は話題性のあるトピックスをより多く取り上げ、受講生の将来に役立つ授業内容の充実に努めたい。
S192010経営の基礎Ⅱ	達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	大学祭でのゼミ単位での参加を中心に、お互いに協力し、組織で取り組む体験をさせた。企業や組織の運営の仕方を研究する学問としての経営学の基礎を体得させることができたと考ええる。	授業評価4.10 学生の評価にはばらつきがみられた。今後は全ての受講生が主体的に取り組むことができる工夫を取り入れていきたい。
S192040金融システム論	達成目標 日本経済新聞の金融・証券欄の内容を理解することができるようになる。	金融の役割や貨幣および金利の機能といった金融論の基礎知識を身につけさせることができた。金融が経済全体や日常生活とどうかわっているのかを具体的に考えさせた。	授業評価4.16 具体的事例を取り上げ、できる限り分かりやすい授業に徹したが、受講生の評価がそれほど高くないのは大変残念である。今後は、さらに工夫し、受講生の関心のあるトピックスをより多く取り上げていきたい。
S192064専門ゼミナールⅢ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	金融に関するテーマを設定し、調査結果を順番にプレゼンするかたちでゼミを進行した。各自の報告に対して、話し合いを行い、助言することで理解を深めた。さらに、インゼミ発表を通じて、他のゼミ生との交流によって、プレゼン能力の向上を図ることができた。	0
S192088卒業研究	達成目標 学習から得られた問題意識に基づいて、その内容を卒業論文にまとめる。グラフ、図、フローチャートを用いて、自分の主張をより効果的に示すことができる。	4年間の集大成として、卒業論文作成を個別指導中心に行った。論文として説得力のあるストーリー展開や科学的な研究方法、参考文献の取り扱いや的確な表現について指導を行った。	0
L191001 日本語中級	基本的なやりとりを超える程度の日本語を運用することができる。日本語能力試験N2以上レベルの文や文章を読み、書き、話すことができる。日本語能力向上に特化した学習に取り組む習慣を身につけることができる。以上3点を到達目標としている。大学での授業を受講する上で必要な日本語能力及びコミュニケーション能力を修得するため、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学べることを教育効果としている。	履修者の出身国を見ると、漢字圏である中国と韓国、非漢字圏であるネパールやベトナムが混在している。学年で見ると、1年生から3年生まで混在している。このようなクラスは一見すると緊張感に満ちて授業運営がしやすいように見えるが、ともすれば同出身国と同学年の者同士でかたまってしまふ恐れがある。このような状態を解消するため、テキストの内容を膨らませて会話を展開する努力を怠らなかつた。ただ、その作業に時間をとられるあまり、テキストそのものの設問に戻った時、時間が押し気味になったことは反省材料である。	授業評価4.45 複数のテキストを使っているが、それぞれの時間配分をあらかじめ決めて、偏りが出ないように注意していきたい。作文指導にも力を入れたい。中級学生は文法面での基礎的な間違いが多く、作文をさせるとそれが明確に出るためである。日本語中級授業はそのような間違いをしっかりと訂正する場でもあるという自覚を持ちたい。

L191002 日本語上級	日常的な場面だけでなく、より幅広い場面で使われる日本語を運用することができる。日本語能力試験N1以上レベルの文や文章を読み、書き、話すことができる。日本語能力向上に特化した学習に取り組む習慣を身につけることができる。以上3点を到達目標としている。大学での授業を受講する上で必要な優れた日本語能力及びコミュニケーション能力を修得するため、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学べることを教育効果としている。	履修者の出身国を見ると、漢字圏である中国が大多数を占めている。学年で見ると、全員1年生である。したがって、学生全体の同質感が強く、漢字が通じやすい点で教えやすい部分があった。ただ、この点を重視しすぎると、非漢字圏の学生たちが疎外感を感じるので、そのあたりの配慮は怠らなかった。それでも、まだまだ試行錯誤の連続である。	授業評価4.64 複数のテキストを使っているが、それぞれの時間配分をあらかじめ決めて、偏りが出ないように注意していきたい。漢字圏出身の学生が多いクラスであるが、漢字を視覚的にとらえることは得意だが、聴覚的にとらえること即ち発話と聞き取りが弱い学生が多い。この辺りの現実を見つめ、指導に取り組んでいきたい。
L191021 現代日本の文化研究	レベルの高い日本語の文章に向き合い、その内容や論理展開についてより深く理解することができる。読解力の基礎となる語彙力と文法力を増強し応用力を養うことができる。現代日本の文化についての理解を深めることができる。以上3点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、現代日本の企業社会で使われる独特の日本語表現を学ぶことを教育効果としている。	履修者は全員日本語能力試験N1合格者またはそれに相当する能力の保持者であった。とはいえ、例えば「鈴木はただいま席をはずしております。」のような企業社会独特の日本語表現は彼らにとってもとても新鮮であり、相応の教育効果があったと思う。しかし、指定テキストの掘り下げについてはまだまだ不足していることを自覚している。	授業評価4.76 「稟議」「見積書」など指定テキストには、日本人学生にとってもほとんど馴染みのない言葉がたくさん含まれている。自分の感覚や体験のみに頼らず、しっかりと調べて自分なりに消化した上で授業に臨んでいきたい。
L191021 現代日本の文化研究	レベルの高い日本語の文章に向き合い、その内容や論理展開についてより深く理解することができる。読解力の基礎となる語彙力と文法力を増強し応用力を養うことができる。現代日本の文化についての理解を深めることができる。以上3点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、現代日本の企業社会で使われる独特の日本語表現を学ぶことを教育効果としている。	履修者は全員日本語能力試験N1合格者またはそれに相当する能力の保持者であった。とはいえ、例えば「鈴木はただいま席をはずしております。」のような企業社会独特の日本語表現は彼らにとってもとても新鮮であり、相応の教育効果があったと思う。しかし、指定テキストの掘り下げについてはまだまだ不足していることを自覚している。	授業評価4.76 「稟議」「見積書」など指定テキストには、日本人学生にとってもほとんど馴染みのない言葉がたくさん含まれている。自分の感覚や体験のみに頼らず、しっかりと調べて自分なりに消化した上で授業に臨んでいきたい。
S191002 異文化理解	国際ビジネスの素養として、自国の文化とは異なる諸文化についての理解を深めることができる。様々な国・地域の文化の共通点・相違点を把握し、諸文化を尊重する態度を養うことができる。以上2点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、様々な国・地域の文化について学ぶことを教育効果としている。	経営学部総合経営学科の1年留学生全員が履修した授業であり、彼ら自身が日本という異文化空間の中で生活しているため、授業への参加意欲は非常に高く、その点で教える側としては有利であった。毎授業、必ず地球儀を持ち込むなど、グローバルな雰囲気づくりに努力した。中国文化、ベトナム文化、インド・ネパール文化については学生たちの方が知識が豊富なので、念入りな予習を行った。	授業評価4.88 絵画や建築物などの文化紹介について視覚方面での努力はまだまだ足りないと感じており、改善したいと思っている。中央アジアやアフリカなど比較的馴染みの薄い地域の文化については、学生たちの関心を掻き立てるために更なる工夫が必要であると思っている。
S191004 経営の基礎 I	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。以上の3点を到達目標としている。高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスケジュール・スキルを身につけることを教育効果としている。	主担当として毎回、スムーズな授業運営ができるように心がけた。対象学生は経営学部総合経営学科の1年生全員であり、大教室における講義形式での授業が主だったため、とかく学生たちは私語や内職に走りがちだった。彼らの学習意欲を少しでも掻き立てようとメリハリのある話し方も怠らなかった。	授業評価4.60 組織のメンバーの円滑なコミュニケーションは経営学の基礎であるという認識を持ち、その実践として大学祭についての話し合いをグループワークとして取り上げた。しかし、大学祭そのものに対する取り組み姿勢は学生間の差が大きく、話し合いは全く盛り上がらないこともしばしばだった。この問題をどうしていくか今後も検討を重ねていきたいと思っている。
L192002 日本語上級	日常的な場面だけでなく、より幅広い場面で使われる日本語を運用することができる。日本語能力試験N1以上レベルの文や文章を読み、書き、話すことができる。日本語能力向上に特化した学習に取り組む習慣を身につけることができる。以上3点を到達目標としている。大学での授業を受講する上で必要な優れた日本語能力及びコミュニケーション能力を修得するため、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学べることを教育効果としている。	前期日本語中級に合格した学生がほとんどを占める授業のため、打ち解けた雰囲気があった。そのため彼らの授業への参加意欲は非常に高く、その点で教える側としては有利であった。宿題としては必ず長文エッセイを書かせ、模範例も自分で作って提示した。この試みは授業の盛り上がりにも寄与したと思う。	授業評価4.70 非漢字圏で日本語能力試験N2未合格者の学生が多かったため、彼らはN1レベルの内容に対してはともしれば学習意欲を失いがちであった。この現状をとらえ、いかに彼らの日本語能力の向上を図っていくのが課題であり、漢字学習の強化など更なる工夫を重ねていこうと思っている。

L192040 プレゼンテーションツール	CTの光と影を認識し、主体的に判断して行動することができる。課題発見、問題解決にICTを活用することができる。社外文書や表計算のデータベース化を修得し、プレゼンテーション能力を向上させることができる。以上の3点を到達目標としている。コンピュータアプリケーションソフトの活用を通して、自分で問題解決できる能力を身に付けることを教育効果としている。	履修者は日本人を中心とした再履修者と全員留学生の一年生とに大別され、コンピュータの基礎能力と日本語能力に関しては個人差が非常に大きかった。最大公約数的な落としどころをどこに持っていか常に試行錯誤して授業に臨んだ。先に課題完成に到達した学生についてはなかなか到達できない学生を助けるように教え導くなど、グループワーク的な要素も取り入れた。	授業評価4.70 膨大な内容が盛り込まれているテキストの内容をしっかりと分析して、その成果を授業に反映させることに関してはまだまだ改善の余地があると自覚している。学生たちのプレゼン能力の向上に少しでも役立つことができるように努力していきたい。
S192005 経営の基礎Ⅱ	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。以上の3点を到達目標としている。高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスチューデント・スキルを身につけることを教育効果としている。	「経営の基礎Ⅰ」が大教室における講義形式の授業が中心だったのに対して、「経営の基礎Ⅱ」は小教室におけるグループワークが中心だった。大学祭をテーマとする話し合いが多かったため、いかに学生たちの関心を大学祭に向けさせていかに心を砕いた。	「経営の基礎Ⅰ」と同様、大学祭についての話し合いは全く盛り上がらないこともしばしばだった。この問題をどうしていくか今後も検討を重ねていきたいと思っている。学修設計についても同様で、2年生以後何を中心に学んでいきたいのかがなかなか決められない学生が多く、指導の工夫が必要である。
専門ゼミナールⅣ	財務会計に関する会計基準や会計の役割、業績評価を理解し、マネジメントに必要な専門的スキルの活用を目的とします	日本の会計と中国の会計の相違点を学習させた。特に中国は中小企業でも会計基準が膨大なことが理解できた。	授業評価4.90 学生の状況に応じた内容にしていきたい。
財務分析	経営比率分析の手法と意味・意義を理解し、企業の財務状況の判断ができる。	基本的な分析手法を説明できた。総合評価の仕方までできたので良かった。	授業評価4.43 様々な分析比率を理解してくれたが、この数値を使って戦略的に考えられるように考える時間を増やしていきたい。
専門ゼミナール入門	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	様々な会計数値を使って、会計関連の学習をし、原価計算やPC検定なども実施した。自分で考えながら、学習した学生は、効果が出た。上記の目標に到達することができたと考えている。	授業評価4.35 相対的に大半の合格者が出たので堂宇の対応をしていきたい。
専門ゼミナール入門	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	様々な会計数値を使って、会計関連の学習をし、原価計算やPC検定なども実施した。自分で考えながら、学習した学生は、効果が出た。上記の目標に到達することができたと考えている。	授業評価4.35 相対的に大半の合格者が出たので堂宇の対応をしていきたい。
専門ゼミナールⅡ	ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	倒産企業の事例報告を各回実施しても何が問題だったのかを学生に理解してもらった。資金計画の重要性を理解してくれた。	授業評価3.93 簿記が嫌いな学生もいたので、復習をしながら解説した。同様の対応で実施していきたい
現代生活と会計	帳簿記入をする上で簿記一巡(貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ)を理解することができる。基本的な項目である現金の処理、商品売買の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。	基本的な内容が理解できたと考えている。ただし、問題を解く量が少なく感じたので今後の課題として対応していきたい。	授業評価3.65 人数が多いと全体を見ることのできないので、少しでも学生の席に出向いて対応できるようにしていきたい。
専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	様々な会計数値を使って、会計関連の学習をし、原価計算やPC検定なども実施した。自分で考えながら、学習した学生は、効果が出た。上記の目標に到達することができたと考えている。	授業評価5.00 学生の状況に応じて、対応していきたい。
データ分析	企業が取り扱う会計データをもとに様々な方法によって、意思決定が行われていることを理解し、その方法が理解できる。	言われながらの展開であったが、がんばって解いてくれた。2年生後期に行うには早いかもしれないが、戦略を立てる上で必要な知識を植え付けることができた。	授業評価4.33 旧カリで今後は実施しないが管理会計的な考え方を習得させたので、他の関連科目でも解説していきたい。

コンピュータ会計【開放】	証憑などの領収証や納品書などで仕訳をして、会計ソフトに表示される財務諸表のデータを読み取り、問題点を解決できる。企業の現状分析や、短期利益計画、資金繰り表の作成まで理解し、会計ソフトを活用できる。	留学生が多いと時間がとられ、予定より問題を解く時間が少なくなった。単位を取得した学生は、目標に到達したと考えられる。	授業評価4.12 履修者の多くが留学生であれば、宿題という形で問題を解かせ、授業で解説や数値の意味を説明していきたい。
原価計算論	本講義は、企業の生産活動に対する原価計算の基本的な計算方法と理論について理解することを目標とする。まず、原価計算の目的・意義から始まり、費目別計算、原価配分、個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、CVP分析を学習する。モノを作るのにいくらかかる、特に、個別受注で採用される個別原価計算、大量生産で採用される総合原価計算について問題を解きながら進める。これらのことが理解できれば、その数値を利用することができる。	基本的な計算ができていのでスムーズに進むことができた。ただ、難解な単元においては、時間を咲いて説明した。該当学生状況によって毎年、進行には変化が生じる。	授業評価3.90 旧カリ寡黙なので次回は無いが興味がある授業が展開できたので同様の対応で実施していきたい。
簿記Ⅰ【代表】【開放】	「現代生活と会計」で学習した内容を基礎とし、さまざまな取引(株式会社の会計処理を含む)を理解することができる。試算表および精算表を作成し、勘定式の貸借対照表および損益計算書を作成することができる。	大半の学生が理解できたと思われるが、翌年になると忘れていることが多いので繰り返し、復習ができるようにしていきたい。	授業評価 3.65 問題を解く時間をもう少し増やし、解説の時間も増やしていきたい。また、自宅での学習時間も念頭に計画していきたい。
専門ゼミナールⅢ	□ 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	社会人としての必要な資格取得の指導を実施した。ビジネスマンとしての必要なPC操作に関する能力が身につけられたと考える。	授業評価 不明 資格取得に挑戦したい学生が集まったので同様のやり方で実施していきたい。
卒業研究	ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	会計分野に関する日本と中国の比較をゼミ生で実施した。少人数での対応であったため、授業時間外に卒業論文に関して個別対応し、授業で作成した卒業論文の一部を輪読し、修正しながら、完成させた。	授業評価 不明 全員留学生であったため、授業時間外で個別対応した結果、期間内に完成することができた。留学生であっても日本人学生であっても、同様の対応を次年度実施していきたい。
キャリアデザインⅠ平成30年度以前入学生(3学科合同)	社会へ巣立つ準備の第一段階として、 ①現時点での自分の適性を把握する ②基礎的な企業観の知識の習得を目指す 以上を主な目的とする。	適性検査や基本的な企業イメージができるようになった。大企業やCM掲載企業がいにも多くの会社が存在していることを理解してもらえた。	授業評価 3.00 単位未取得者のため、登校することを主眼において、作業するような感じで行ったが今後のそのような感じで行う。
キャリアデザインⅡ平成30年度以前入学生(3学科合同)	意欲的な人生設計の実現に向けた実践的な行動がとれるように、社会への入り口に必要基礎知識を理解することができる。	社会に出たときの管理職、中間管理職、新入社員の立場の考え方の違いを中心に実施した。業種業態でそれぞれの違いもあることが分かったとのコメントもあり、就職した後のことを考えることができた。	授業評価 4.15 総じて良かったとの意見もあり、再履修者の未登録者のみのため、同様やり方で実施していく。
S191054 専門ゼミナールⅡ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 経営学について多角的な観点から学習し、より専門的な経営学的思考能力を身に付けます。 ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していきます。	この授業では、統計学の手法を学び、その手法を用いて身近な課題を解決することを目標としました。取り組む課題は受講生自身に選択してもらいました。多くの受講生が課題を選択することに困難を感じたようです。取り組む課題が決定してからも、課題を解決することに前向きに取り組ませることに苦労をしました。	授業評価4.00 次年度の授業においては、受講生に課題を選択させる前に、統計学の手法を用いて解決できる課題の事例を多数紹介したいと思います。
S191086 専門ゼミナールⅣ	達成目標 論理的な思考ができるようになる。数学的に問題を解決することができる。 数学の学習を通して、ビジネスパーソンとして要求される、総合的判断力を向上させます。	受講生が1名の授業でした。このため、受講生の理解、興味に応じた授業ができませんでした。その反面、他の受講生から刺激を受け、それを良い方向に活かす機会がなかったことが残念でした。	授業評価5.00 受講生が1名だったためこのような授業評価になったのだと思います。次回受講生が1名だけのゼミを担当する場合には、他のゼミと合同の授業を行うなどの工夫をしたいと思います。

L191017 数学と社会 (S)	<p>達成目標</p> <p>①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。</p> <p>③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。</p> <p>主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>2019年度にはじめて担当した科目です。インターネットを使って情報を送受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明しました。高校までの数学の得意不得意と無関係に取り組める授業内容ではないかと考えています。実際、練習問題を解く際には、電卓を使用するため、基本事項を理解していれば、正解にたどり着けていたようです。</p>	<p>授業評価4.02</p> <p>インターネットを使用しているときには、常にお世話になっている暗号であっても多くの受講生には、実感が湧かない題材だと思います。次年度は、現在使われている暗号が簡単に解読されてしまった場合の社会への影響などについても取り上げたいと思います。</p>
L191017 数学と社会 (S)	<p>達成目標</p> <p>①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。</p> <p>③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。</p> <p>主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>2019年度にはじめて担当した科目です。インターネットを使って情報を送受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明しました。高校までの数学の得意不得意と無関係に取り組める授業内容ではないかと考えています。実際、練習問題を解く際には、電卓を使用するため、基本事項を理解していれば、正解にたどり着けていたようです。</p>	<p>授業評価4.02</p> <p>インターネットを使用しているときには、常にお世話になっている暗号であっても多くの受講生には、実感が湧かない題材だと思います。次年度は、現在使われている暗号が簡単に解読されてしまった場合の社会への影響などについても取り上げたいと思います。</p>
L191018 数学と社会 (A,SD)	<p>達成目標</p> <p>①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。</p> <p>③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。</p> <p>主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>2019年度にはじめて担当した科目です。インターネットを使って情報を送受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明しました。高校までの数学の得意不得意と無関係に取り組める授業内容ではないかと考えています。実際、練習問題を解く際には、電卓を使用するため、基本事項を理解していれば、正解にたどり着けていたようです。</p>	<p>授業評価4.13</p> <p>インターネットを使用しているときには、常にお世話になっている暗号であっても多くの受講生には、実感が湧かない題材だと思います。次年度は、現在使われている暗号が簡単に解読されてしまった場合の社会への影響などについても取り上げたいと思います。</p>
L191037 統計学（読替科目あり、特別開講）	<p>達成目標</p> <p>標本調査の手法について理解できる。標本調査の手法を用いて身の回りの問題を解決することができる。</p> <p>この講義で身につけた統計学の手法は卒業後企業等で仕事をする際に役立つと思います。</p>	<p>データの代表値から区間推定を扱った統計学の入門的授業です。統計学を学ぶ目的が明確でない受講生には、前向きに取り組むことが難しかったかもしれません。</p>	<p>授業評価4.01</p> <p>次年度は授業で扱った手法が役立っている場面を紹介するなど、統計学を学ぶ意義がわかる授業内容にしていきたいと思っています。</p>
S191006 経営の基礎 I	<p>達成目標</p> <p>他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p> <p>「現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力」とはどのような能力なのか、その能力はどのようにして身に付けるのかを学ぶ科目です。</p>	<p>経営学への入門と大学生への“入門”を目的とした授業です。受講生間および受講生と教員間のコミュニケーションが図れるよう配慮しました。機会を見つけて一人一人の受講生から要望等を聞き、可能なものにはアドバイスをしました。</p>	<p>授業評価4.22</p> <p>欠席過多で単位を取得できなかった受講生がいました。このような受講生を出さないよう、次年度は受講生との連絡をより密にしたいと思っています。</p>
S191040 オペレーションズ・リサーチ 平成30年度入学生対象には開講せず	<p>達成目標</p> <p>線形計画法について理解し、問題文を読んで独力で定式化ができる。回帰分析について理解し、線形回帰モデルを導出できる。</p> <p>現代の企業経営では、膨大な情報の中から必要なものを選び出し、経営判断の材料とすることが求められています。よって、企業経営に欠くことのできないオペレーションズ・リサーチの基本的な考え方の修得が必要です。</p>	<p>この授業では、線形計画法、ゲーム理論、回帰分析を扱いました。身近な例を利用して各理論の説明を行いました。線形計画法とゲーム理論に関しては大部分の受講生が十分理解をしていたと思いますが、回帰分析の計算方法について十分理解した受講生は少数でした。</p>	<p>授業評価4.06</p> <p>この授業は、2019年度にはじめて担当しました。このため、受講生が関心を持つ題材がどのようなものかわかりませんでした。このような状況で行った授業だったことを考えますと、授業評価は悪くないと思います。次にこの授業を担当する場合には、ゲーム理論の内容を充実させたいと思います。</p>

L192011 統計学 (A)	<p>達成目標</p> <p>①標本調査等の統計的な手法について理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている統計的な手法について説明できる。</p> <p>③統計的な手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。</p> <p>主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>データの代表値から区間推定を扱った統計学の入門的授業です。統計学を学ぶ目的が明確でない受講生には、前向きに取り組むことが難しかったかもしれません。</p>	<p>授業評価4.19</p> <p>次年度は授業で扱った手法が役立っている場面を紹介するなど、統計学を学ぶ意義がわかる授業内容にしていきたいと思います。</p>
S192057 アルゴリズム 平成30年度入学生対象 には開講せず	<p>達成目標</p> <p>問題解決のための一貫性のあるプログラムを作成する能力、他者の書いたプログラムを読解する能力、プログラムの実行過程をシミュレートする能力を身につける。</p> <p>コンピュータ概論で学んだ情報処理の知識を基礎として、プログラミング I・II で学んだ情報処理の様々な手順を、アルゴリズムの学習で確認し、より高度な技法へと発展させます。</p>	<p>受講生が少数だったため、受講生の理解度を確認しながら授業を進めることができました。受講生の理解が十分でない箇所は次週再び説明を行ったり、よりわかりやすい練習問題を課したりしましたが、それでもわかりやすい授業内容にはなっていなかったと感じています。</p>	<p>授業評価2.00</p> <p>授業評価の数値が、受講生に授業内容が十分受け入れられなかったことを示していると思います。次回この授業を担当するときには、多様な学力や興味を持った受講生に受け入れられる題材を準備したいと思います。</p>
S192059 専門ゼミナールⅢ	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>経営学について多角的な観点から学習し、より専門的な経営学的思考能力を身に付けます。ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していきます。</p>	<p>この授業では、統計学の手法を学び、その手法を用いて身近な課題を解決することを目標としました。インゼミにおいては、各受講生が解決した課題について発表を行いました。インゼミの発表準備を十分行った受講生とそうでない受講生が出てしまいました。これは、選択した問題の難易度に差があることが主な原因であるためある程度はやむを得ないと思いますが、インゼミの発表の質が一定以上になるよう指導をしたいと思います。次年度インゼミの発表準備が遅れがちな学生には、授業時間外に指導を行うなどの対応も考えたいと思います。</p>	<p>授業評価 回答者0名</p>
S192084 卒業研究	<p>達成目標</p> <p>論理的な思考ができるようになる。数学的に問題を解決することができる。</p> <p>数学の学習を通して、ビジネスパーソンとして要求される、総合的判断力を向上させます。</p>	<p>受講生が1名の授業でした。このため、受講生の理解、興味に応じた卒業論文の指導ができました。一方で、他の受講生の卒業論文作成の進捗状況がわからないため、例年と比較すると卒業論文の完成時期がかなり遅くなるという結果になってしまいました。次回受講生が1名だけの卒業研究を担当する場合には、他のゼミと卒業論文作成の進捗状況を含めた情報共有を行いたいと思います。</p>	<p>授業評価 回答者0名</p>
L192012 統計学 (SD)	<p>達成目標</p> <p>①標本調査等の統計的な手法について理解できる。</p> <p>②現代の社会で用いられている統計的な手法について説明できる。</p> <p>③統計的な手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。</p> <p>主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。</p>	<p>データの代表値から区間推定を扱った統計学の入門的授業です。統計学を学ぶ目的が明確でない受講生には、前向きに取り組むことが難しかったかもしれません。</p>	<p>授業評価4.30</p> <p>次年度は授業で扱った手法が役立っている場面を紹介するなど、統計学を学ぶ意義がわかる授業内容にしていきたいと思います。</p>

S192007 経営の基礎Ⅱ	達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。 「現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力」とはどのような能力なのか、その能力はどのようにして身に付けるのかを学ぶ科目です。	経営学への入門と大学生への“入門”を目的とした授業です。大学祭に模擬店を出店する活動を通じて受講生間のコミュニケーションが予想以上に図れたと思います。	授業評価4.90 経営の基礎Ⅰの授業評価より数値が上昇しているのは、大学祭への参加などを通して親しい友人ができたなど、満足感が得られたためではないかと思えます。次年度も受講生同士がより親しくなれるような環境づくりに努めていきたいと思えます。
L192013 統計学 (B)	達成目標 ①標本調査等の統計的な手法について理解できる。 ②現代の社会で用いられている統計的な手法について説明できる。 ③統計的な手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。 主に、幅広い知識・教養や物事を論理的に考える習慣を身につけるための科目です。	データの代表値から区間推定を扱った統計学の入門的授業です。統計学を学ぶ目的が明確でない受講生には、前向きに取り組むことが難しかったかもしれません。	授業評価4.01 次年度は授業で扱った手法が役立っている場面を紹介するなど、統計学を学ぶ意義がわかる授業内容にしていきたいと思えます。
L191034 キャリアデザインⅢ (S)	自己のこれまでの経験について、客観的にまとめることができる。 自身の学科の学びに関係する仕事の内容について理解できる。 物事を論理的に考え、積極的に発信していくことができる。	前半は、学生生活の振り返り(キャリア・ポートフォリオの作成による1年次から学習を継続していることなど)や自己分析を実施。後半では、学科の学びと卒業後の仕事との関係などを中心に実施した。ポートフォリオの作成と学科での学びに関係する仕事についての講義や情報収集などにより、卒業後の自分がある程度は描くことができるようになったと考える。	4.04 カリキュラム改定に伴い、次年度以降開講せず。
L192027 キャリアデザインⅣ (S)	様々な業種・職種の仕事内容について、客観的に理解できる。 自身の就業適性について、客観的に理解できる。 社会人として就業するプロセスを理解し、ビジョンを描くことができる。	募集・採用の現状、日本的雇用制度、キャリア形成など就業プロセスを理解しビジョンを描くことができることを中心に実施した。その他、履歴書作成など。就業プロセスを理解したうえでビジョンを描くこの重要性を認識させることができたと考える。	3.82 カリキュラム改定に伴い、次年度以降開講せず。
S191031 専門ゼミナール入門	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	ゼミ課題である「これからの企業はどうあるべきか、働く人たちに求められるものは何か、そして、自分はどのように働き、生きていくのか」といった問題について、その考え方の基本をフィナンシャルプランナーをゲストに招き、ワークや成果発表を実施した。ゲストの協力もあり、目標は概ね達成できたと考える。	3.88 ゼミ生募集に際し今年度のテーマを継続したい。ワークは多く実施したが、プレゼンの機会が少なかったため、次年度は、プレゼン機会をできる限り多くしたい。
S191031 専門ゼミナール入門	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	ゼミ課題である「これからの企業はどうあるべきか、働く人たちに求められるものは何か、そして、自分はどのように働き、生きていくのか」といった問題について、その考え方の基本をフィナンシャルプランナーをゲストに招き、ワークや成果発表を実施した。ゲストの協力もあり、目標は概ね達成できたと考える。	3.88 ゼミ生募集に際し今年度のテーマを継続したい。ワークは多く実施したが、プレゼンの機会が少なかったため、次年度は、プレゼン機会をできる限り多くしたい。
S191041 経営組織論	組織と人との関係を通して企業の経営活動を理解することにより、人と組織をマネジメントすることができる。 組織と人との関係を考察することを通して組織マネジメントに必要な知識を習得することができる。	組織理論について、組織と個人との関係から講義することにより、理論とともに組織の中で何が起き、何が問題となっているのかの現実認識の部分についても実施した。 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題が、うまくかみ合ったこともあり、目標は概ね達成できたと考える。	4.15 次年度以降は2年次科目となる。パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題の組み合わせを今一度検討したい。3年次以降の科目との橋渡しの役割を果たすことができるよう努力したい。

S191043 情報管理論	企業の情報管理に関する知識を習得し組織マネジメントに活用することができる。 組織コミュニケーションや多様なマネジメントなどを学習することを通して企業経営における情報マネジメントの重要性について理解を深めることができる。	組織における情報マネジメントの重要性を主に実施した。 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題が、うまくかみ合ったこともあり、目標は概ね達成できたと考ええる。	4.11 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題の組み合わせを今一度検討したい。今年度は、事例研究を多く実施したが、次年度も継続し、より実践的な内容としたい。
S191060 専門ゼミナールⅡ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントができる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	本ゼミの課題である「これからの企業や組織はどうあるべきか、働く人たちに求められるものは何か、そして、自分はどう働き、生きていくのか」といった問題について、各自興味のあるテーマについて著書を選択させ、卒業論文にどのように発展させるかを考えさせた。目標は概ね達成できたと考ええる。	4.35 ワークやプレゼン内容を検討することにより、多様な働き方や生き方に対応したより実践的な内容としたい。
S191072 人的資源管理論	経営資源としての人がどのように活用されるのかを理解し人に関するマネジメントをすることができる。 企業や組織における人の活用について考察することを通して人材マネジメントに必要な知識を習得することができる。	人的資源管理について、企業と働く個人との関係から講義することにより、理論とともに企業の中で何が起き、何が問題となっているのかの現実認識の部分についても実施した。 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題が、うまくかみ合ったこともあり、目標は概ね達成できたと考ええる。	4.18 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題の組み合わせを今一度検討したい。また、今年度は2回の事例研究を設定したが、さらに増やすことにより、企業における人的資源管理についての考え方を理解させるとともに、人材マネジメントに関する実践的な科目としたい。
S191076 ファイナンシャル・プランニングⅠ	多様な働き方や生き方に対応したライフプランニングの知識や手法を理解し活用することができる。自らのライフプランに応じた最適な選択を行うために必要な知識を習得し活用することができる。	ライフプランニング、社会保険や公的年金、税金の分野を中心に実施した。 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題が、うまくかみ合ったこともあり、目標は概ね達成できたと考ええる。	4.09 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題の組み合わせを今一度検討したい。今年度は2回の事例研究を設定したが、さらに増やすことにより、多様な働き方や生き方に関するより実践的な内容としたい。
☑ S191091 専門ゼミナールⅣ	これからの女性のキャリア(自分らしい働き方・生き方)について、企業と人との関係、人材マネジメント、社会保障制度などから総合的にデザインすることができる。	卒業論文作成のための資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に実施した。 全員が女子留学生であり、自国の女性のキャリアと比較する良い機会となった。目標は概ね達成できたと考ええる。	5 卒業論文作成のための資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションが一巡する時間が長かったため、回数の確保が難しかった。次年度は、資料収集、プレゼンテーション、ディスカッション流れを3年次から作ることにより、回数の確保を達成したい。
S192018 経営情報システム論	企業の経営情報システムに関する知識を習得し組織マネジメントに活用することができる。 組織コミュニケーションなどを学習することを通して経営情報システムの重要性について理解を深めることができる。	組織における情報のシステム化の重要性を主に実施した。 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題が、うまくかみ合ったこともあり、目標は概ね達成できたと考ええる。	4.32 カリキュラム改定に伴い、次年度以降開講せず。
S192034 専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	前期同様ゼミ課題である「これからの企業はどうあるべきか、働く人たちに求められるものは何か、そして、自分はどう働き、生きていくのか」といった問題について、その考え方の基本についてファイナンシャルプランナーをゲストに招き、ワークや成果発表を実施した。ゲストの協力もあり、目標は概ね達成できたものと考ええる。	4.51 次年度もファイナンシャルプランナーをゲストに招く予定である。 ワークは多く実施したが、プレゼンの機会が少なかったため、次年度は、プレゼン機会をできる限り多くしたい。
S192038 ベンチャー論	企業の成長戦略のために経営資源を有効活用することができる。 ベンチャー企業の成長マネジメントについて学習することを通して企業経営に関する理解を深めることができる。	ベンチャー企業の重要なマネジメントである成長マネジメントとリスクマネジメントを主に実施した。 パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題が、うまくかみ合ったこともあり、目標は概ね達成できたと考ええる。	4.26 カリキュラム改定に伴い、次年度開講せず。

S192065 専門ゼミナールⅢ	<p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>前期同様本ゼミの課題(「これからの企業や組織はどうあるべきか、働く人たちに求められるものは何か、そして、自分はどう働き、生きていくのか」)に対する学習(各自の興味のあるテーマについて、著書を選択させ卒業論文にどのように発展させるかを考えさせる。)が中心であった。各自テーマも絞り込まれつつあり、目標は概ね達成できたと考える。</p>	<p>5</p> <p>4年次に実施する卒業論文作成のための資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションが一巡する時間が長く回数の確保が難しかったため、資料収集、プレゼンテーション、ディスカッション流れを3年次からつくりたい。</p>
S192078 ファイナンシャル・プランニングⅡ	<p>多様な働き方や生き方に対応したリスクマネジメントの知識や手法を理解し活用することができる。</p> <p>労働条件などのセーフティネットに関する知識を習得し活用することができる。</p>	<p>就職活動の直前の時期でもあるため、働き方とセーフティネットの分野を主に実施した。</p> <p>パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題が、うまくかみ合ったこともあり、目標は概ね達成できたと考える。</p>	<p>4.38</p> <p>パワーポイントによる説明・レジュメ・VTR・課題の組み合わせを今一度検討したい。今年度は2回の事例研究を設定したが、さらに増やすことにより、多様な働き方や生き方に対応したより実践的な内容としたい。</p>
S192089 卒業研究	<p>これからの女性のキャリア(自分らしい働き方・生き方)について、総合的にデザインすることができる。</p> <p>卒業論文を作成し、発表することができる。</p>	<p>前期科目(専門ゼミナールⅣ)と比較し、資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションが一巡する時間も短くなり順調に実施でき、卒業論文も年内に全員が提出した。目標は達成できたと考えられる。</p>	<p>回答者なし</p> <p>次年度についても、卒業論文年内全員提出を目標に努力したい。</p>
S191069 専門ゼミナールⅡ	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>経営学について多角的な観点から学習し、より専門的な経営学的思考能力を身に付けます。ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していく。</p>	<p>ゼミナール形式で、前半は教員が用意した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルについて学習した。後半は、学生が各自で検索した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルに加え、PCを用いたレポート作成やプレゼンテーションを行った。</p> <p>レポート作成や卒論作成に繋がる基本的なスキルの学習であるが、繰り返し行うことで、個人差はあるが少しずつ向上していたと感じている。また、PCスキルについても同様で、普段からPCを利用する機会の有無により、理解度や習熟度に差はあるが、少しずつ慣れていくことができたと感じている。</p>	<p>授業評価4.25</p> <p>少人数ではあるが、今回、課題の難易度については比較的平易なものを選択した。今後は、より難易度の高いものも取り入れながら、履修者の思考力や読解力、PCスキルの向上につなげていきたいと考えている。</p>
S191100 専門ゼミナールⅣ	<p>達成目標</p> <p>体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身につける。</p> <p>体育・スポーツを経営学、経済学、社会学、健康科学、医学といった様々な視点から捉え、社会における体育・スポーツの意義を考え、問題点を分析し、解決策を探求していく。</p>	<p>ゼミナール形式で、前半は卒業論文の各自のテーマに沿った資料収集と資料分析を行った。そして、収集した資料についてまとめ、発表することを繰り返した。後半は、収集した資料をもとに、卒業論文のアウトラインを作成し、執筆を開始した。</p> <p>資料収集に苦労する者もいたが、文献検索の方法の指導や参考資料を提供することで、資料収集のスキルはある程度身についたと思われる。しかし、収集した資料を読解し、精査することについては、もう少し時間をかけて取り組めるようにした方が良かったと感じている。また、これまでも繰り返し行ってきたプレゼンテーション資料の作成や、発表については、当初に比べ向上していると感じている。</p>	<p>授業評価4.53</p> <p>個別に指導する機会が多く、多少難易度が高い資料についても、時間をかけて解説することができた。今後も個別指導の機会をできるだけ多くとるよう心がけ、卒業論文の執筆につなげていきたいと考えている。</p>

L191027 スポーツA (A, SD)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。</p> <p>②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。</p> <p>③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p> <p>教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>		0 授業評価
L191027 スポーツA (A, SD)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。</p> <p>②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。</p> <p>③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p> <p>教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>		0 授業評価
L191028 スポーツA (S)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。</p> <p>②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。</p> <p>③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p> <p>教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>	<p>教員2名による2種目に分かれての授業で、各種目35人程度と、実技を行う上で、適正な人数であったことに加え、受講生が積極的に取り組んでくれた。授業前に、予習課題として、授業で行う技術や戦術について、各自で調べることで、授業に臨む準備ができ、ある程度の知識を持ちながら、調べただけでは理解不足な点を、授業の中で学ばせることができたのではと考える。学んだことをミニゲームで発揮してみることで、新たな課題や、課題解決を模索させられたと考える。</p> <p>技術や戦術を身につけるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、時間的な配分も学生の状況に合わせて実施した。</p>	<p>授業評価4.28</p> <p>授業評価回答率が51%程度で、多少、授業評価が高い(達成目標の達成度が高い)学生に回答が偏った可能性も否定できない。</p> <p>スポーツが不得意な学生もいるため、技術練習において、より適切なアドバイスを与えながら、自分で成長を実感させられるよう工夫していきたいと考えている。</p>
S191011 経営の基礎 I	<p>達成目標</p> <p>他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。「現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力」とはどのような能力なのか、その能力はどのようにして身に付けるのかを学ぶ。</p>	<p>初年次教育の一環として、大学生としての基本的なスキル(学習、生活など)について学習する科目である。履修者の中には、コミュニケーションが苦手な者も存在し、まずはその点から少しずつ取り組むこととした。各課題については、難易度は高くないが、各回の内容や資料を理解しているかどうかで、評価に差が出たと感じている。</p>	<p>授業評価3.76</p> <p>回答が29%と低く、全体の評価として捉えることは難しい。</p> <p>今後は、入学当初からのコミュニケーションの確保は継続しつつ、様々な実践力を身につける内容を組み込んでいきたいと考えている。</p>
S191075 スポーツマネジメント	<p>達成目標</p> <p>スポーツ経営の基礎理論を身につける。領域に応じたスポーツ経営の実践スキルを身につける。</p> <p>スポーツという特殊環境における経営知識の習得—経営学の—特殊領域。ビジネスパーソン(特に、スポーツ関係従事者)に必要なスキルと知識を理解する。</p>	<p>経営分野の中でも、スポーツに関する内容について取り扱う科目となる。主に、経営学の基礎的な内容をスポーツに照らし合わせ内容を構成した。1年次、2年次における経営に関する基礎知識を踏まえた内容となるが、それらの理解度により、評価に差が出たと感じている。一般的な経営とスポーツの経営には共通する点も多数あるが、それらを理解した上で、スポーツの経営を捉えられるよう、授業内容を構成した。これらの点でスポーツに関する経営への理解度は、深まったと感じている。</p>	<p>授業評価4.24</p> <p>今後も、一般的な経営に関する内容を織り交ぜ、スポーツに関する経営について、昨今の事情も踏まえつつ授業内容を構成していきたいと考えている。また、何らかの企画や運営に関する実践的な内容も取り入れていきたい。</p>

L191040 スポーツⅢ【バスケット】	<p>達成目標 バスケットボールのルールと楽しむための基本技術を理解することができる。 戦略・戦術を工夫し、ゲームの面白さを引き出すことができる。 チームのレベルアップへ向けた練習課題や練習内容を工夫することができる。 幅広い教養のひとつとしてのスポーツ知識や技能の習得。心身の能力向上を図るために必要な知識・技術の基本を理解する。</p>	<p>履修者38人と、実技を行う上で、適正な人数であったことに加え、受講生が積極的に取り組んでくれた。 授業前に、予習課題として、授業で行う技術や戦術について、各自で調べることで、授業に臨む準備ができ、ある程度の知識を持ちながら、調べただけでは理解不足な点を、授業の中で学ばせることができたのではと考える。学んだことをミニゲームで発揮してみることで、新たな課題や、課題解決を模索させられたと考える。 技術や戦術を身につけるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、時間的な配分も学生の状況に合わせて実施した。</p>	<p>授業評価4.40 技術や戦術の理解度や、種目の経験の有無、体力レベルなどで、個人差はあるが、基本的な内容を繰り返している中で、それらを応用していくことを意識づけるようこころがけた。また、一定回、チームを固定することでチームとしてのまとまりや、グループ戦術を構築していく内容を取り入れることで、より質の高い活動ができると考え、今後もこの点については継続していきたい。</p>
S191105 フィットネス演習	<p>達成目標 ①体力の診断と問題解決の方策を助言できる能力を身につける。②身体状況と体力的特性に応じて適切な運動プログラムを作成できる。③安全で効果的な運動プログラムの実践に必要な知識と技能を身につける。 プログラマーの実践能力を身に付け、スポーツマネジメントの現場で活躍する能力を養成する。</p>	<p>フィットネスの科学における、体力の概念やその診断、運動プログラムの作成のための基礎知識を踏まえ、演習形式を取り入れた実践的科目である。主に、各年代における運動プログラムの作成や運動指導の現場にて必要な内容を取り扱った。履修者は主に、運動指導を受ける側の立場であることから、運動指導を処方する立場として注意すべき点については、実際の指導場面を思い浮かべながら、より理解が深まったのではないかと感じている。</p>	<p>授業評価4.45 授業評価回答率が20%程度であり、全体の評価を反映したものとは捉えられないが、回答した者については、概ねよい評価であった。 今後は、これまで主に運動指導を受ける側であった履修者が、自身または他社へ運動処方をすることを意識させ、実際の現場での話題も取り入れながら、運動を指導する立場の視点を身につけられるよう、実践的な内容をより多く取り入れていきたいと考えている。</p>
S191001 スポーツ科学概論	<p>達成目標 スポーツに関わる者として必要であるスポーツ科学および周辺知識を習得できる。 スポーツ科学全般に加えスポーツ振興政策と社会体育論、スポーツに関する法的知識、スポーツ心理学、スポーツ組織論についても理解できる。 対象者の年齢に合わせたスポーツ指導の方法を理解できる。 スポーツ指導者として活動するために必要とされる基礎的科目であり、各種指導者資格を取得する際のベースとなる知識を取得する。</p>		<p>0 授業評価</p>
S192100 スポーツ事業論	<p>達成目標 スポーツ事業を企画し、提供するノウハウを身につける。 スポーツマネジメントの実践的学習。ビジネスパーソン(特に、スポーツ関係従事者)に必要なスキルを活用し、行動できることを目指す。</p>	<p>4年次開講科目であることから、これまでの経営に関する科目の内容、およびスポーツに関連する科目の内容を総合的に織り交ぜた内容を構成した。これまでの内容を復習し、実際のスポーツ事業を企画、運営するプランを検討する課題を提示した。1つの事業を企画、運営する手順や、そのポイントを履修者自身が考えて、様々なプランを作成した。 実際に実現可能かどうかは別として、履修者同士がディスカッションしながら、様々なプランを検討する中で、プラン作成からその運営までに必要なすきを身につけることができたのではないかと考えている。</p>	<p>授業評価5.00 授業評価回答率が13%程度であり、全体の評価を反映したものとは捉えられないが、回答した者については、概ねよい評価であった。 4年次開講科目でもあることから、今後は、スポーツ事業に限らず、様々な事業を企画、運営できる力を身につけられるよう、実践的な内容をより多く取り入れていきたいと考えている。</p>

S192073 専門ゼミナールⅢ	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>経営学について多角的な観点から学習し、より専門的な経営学的思考能力を身に付けます。ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していく。</p>	<p>ゼミナール形式で、前半は教員が用意した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルについて学習した。後半は、学生が各自で検索した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルに加え、PCを用いたレポート作成やプレゼンテーションを行った。</p> <p>レポート作成や卒論作成に繋がる基本的なスキルの学習であるが、繰り返し行うことで、個人差はあるが少しずつ向上していたと感じている。また、PCスキルについても同様で、普段からPCを利用する機会の有無により、理解度や習熟度に差はあるが、少しずつ慣れていくことができたと感じている。</p> <p>今後は、基本的な内容だけでなく、応用的な内容も取り入れ、PCスキルや読解力をより向上させることを実践していきたいと考えている。</p>	授業評価 回答なし
S192099 卒業研究	<p>達成目標</p> <p>体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身につける。</p> <p>体育・スポーツを経営学、経済学、社会学、健康科学、医学といった様々な視点から捉え、社会における体育・スポーツの意義を考え、問題点を分析し、解決策を探求していく。</p>	<p>ゼミナール形式で、前期の専門ゼミナールⅣから引き続き、前半は卒業論文の各自のテーマに沿った資料収集と卒業論文の執筆を行った。そして、収集した資料および卒業論文についてまとめ、発表することを繰り返し行った。</p> <p>後半は、執筆している卒業論文の完成に向けて、添削と修正を繰り返し行った。</p> <p>資料収集に苦労する者もいたが、文献検索の方法の指導や参考資料を提供することで、資料収集のスキルはある程度身についたと思われる。しかし、収集した資料を読解し、精査することについては、もう少し時間をかけて取り組めるようにした方が良かったと感じている。</p> <p>また、これまでも繰り返し行ってきたプレゼンテーション資料の作成や、発表については、当初に比べ向上したと感じている。</p> <p>今後は、資料の読解と、卒業論文の執筆方法について、早い時期から取り組むことができるよう、前期の専門ゼミナールⅣも含めて、構成を検討していきたいと考えている。</p>	授業評価 回答なし
L192020 スポーツB(S)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。</p> <p>②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。</p> <p>③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p> <p>教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>	<p>教員2名による2種目に分かれての授業で、各種目35人程度と、実技を行う上で、適正な人数であったことに加え、受講生が積極的に取り組んでくれた。</p> <p>授業前に、予習課題として、授業で行う技術や戦術について、各自で調べること、授業に臨む準備ができ、ある程度の知識を持ちながら、調べただけでは理解不足な点を、授業の中で学ばせることができたのではと考える。学んだことをミニゲームで発揮してみること、新たな課題や、課題解決を模索させられたと考える。</p> <p>技術や戦術を身につけるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、時間的な配分も学生の状況に合わせて実施した。</p>	<p>授業評価4.38</p> <p>実際の成績に比例はしているが、成績評価以上に、授業評価が高かった。授業評価回答率が25%程度で、多少、授業評価が高い(達成目標の達成度が高い)学生に回答が偏った可能性も否定できない。</p> <p>スポーツが不得意な学生もいるため、技術練習において、より適切なアドバイスを与えながら、自分で成長を実感させられるよう工夫したい。</p>

L192019 スポーツB(A、SD)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。</p> <p>②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。</p> <p>③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p> <p>教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>		0 授業評価
S192012 経営の基礎Ⅱ	<p>達成目標</p> <p>他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。</p> <p>経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。</p> <p>講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p> <p>「現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力」とはどのような能力なのか、その能力はどのようにして身に付けるのかを学ぶ。</p>	<p>初年次教育の一環として、大学生としての基本的なスキル(学習、生活など)について学習する科目である。履修者の中には、コミュニケーションが苦手な者も存在し、まずはその点から少しずつ取り組むこととした。経営の基礎Ⅱでは、大学祭における模擬店の出店といった内容の企画、運営が主であり、履修者は協力しながら、模擬店の内容を検討して、運営を行っていた。当初は、コミュニケーション不足が散見されたが、数名の履修者がリーダーとなり全体を統率していくことができたと感じている。また、各課題については、難易度は高くないが、各回の内容や資料を理解しているかどうかで、評価に差が出たと感じている。</p> <p>今後は、より専門性が高まる2年次に向け、つながりのある内容を取り入れ、大学生としての学習スキルの修得や行動を身につけることができるようにしていきたいと考えている。</p>	授業評価 回答なし
S192077 フィットネスの科学	<p>達成目標</p> <p>体力の概念・測定方法・評価方法を習得する。</p> <p>健康と体力の関係について理解できる。</p> <p>ライフステージに応じた健康問題と運動の視点についての知識を習得する。</p> <p>プログラマーの基本資質を身につけ、スポーツマネジメントの現場で活躍する能力を養成する。</p>	<p>4年次開講科目のフィットネス演習につなげていく講義形式の科目である。体力の概念やその診断、運動プログラムの作成のための基礎知識を主に取り扱い、運動を処方する際に必要な基本的な知識を身につける内容となっている。主に、各年代における運動プログラムの作成や運動指導の現場にて必要な内容を取り扱った。履修者は主に、運動指導を受ける側の立場であることから、運動指導を処方する立場として注意すべき点については、基本的なフィットネスの内容とともに、実際の指導場面を思い浮かべながら、より理解が深まったのではないかと感じている。</p>	<p>授業評価4.51</p> <p>授業評価回答率が18%程度であり、全体の評価を反映したものとは捉えられないが、回答した者については、概ねよい評価であった。</p> <p>運動処方においては、ヒトの身体の仕組みや心理、トレーニング、外傷・傷害に至るまで、様々な知識が必要となる。難解な内容も含まれているが、今後は、より理解しやすい、図や動画等も加え、内容を構成していきたいと考えている。運動だけでなく、疾病や環境など、ヒトの健康に関連する内容についても取り入れ、自身だけでなく周囲の人々の健康についても意識する視点を身につけられるよう、様々な内容を多く取り入れていきたいと考えている。</p>

S192001 スポーツ経営 管理論	<p>達成目標</p> <p>スポーツ経営・管理の基礎理論を身につけることができる。領域に応じたスポーツ経営・管理の実践スキルを身につけることができる。</p> <p>スポーツにおける「戦略・マーケティング・組織・管理、ビジネスの仕組み」の基礎段階として、本講義では経営管理の基礎的な内容から、スポーツの特殊性を考慮した内容まで論理的に理解する</p>	<p>経営分野の中でも、スポーツに関する内容について取り扱う科目となる。主に、経営学の基礎的な内容をスポーツに照らし合わせ内容を構成した。1年次開講科目であることから、経営に関する基礎知識をまず取り上げ、それらの解説を多く取り入れた。他の科目と重複する内容を踏まえたものとなるが、履修者にとっては繰り返しとなり、復習となっていたようである。また、それらの理解度により、評価に差が出たと感じている。一般的な経営とスポーツの経営には共通する点も多数あるが、それらを理解した上で、スポーツの経営を捉えられるよう、授業内容を構成した。これらの点でスポーツに関する経営への理解度は、ある程度深まったと感じている。</p>	<p>授業評価4.07</p> <p>授業評価回答率が20%程度であり、全体の評価を反映したものとは捉えられないが、回答した者については、概ねよい評価であったと考えている。今後も、一般的な経営に関する内容を織り交ぜ、スポーツに関する経営について、昨今の事情も踏まえつつ授業内容を構成していきたいと考えている。また、何らかの企画や運営に関する実践的な内容も取り入れていきたい。</p>
L191050 中国語 I	<p>中国語の発音、基本的な文法を学習するとともに、実践的な状況、例えば「中華料理を食べる」をテーマに実践的な会話能力を磨きます。語彙力と表現力を養い、基礎会話能力を養成します。同時に、中国社会への理解を深めるとともに、中国語学習への意欲向上を図り、「中国語」の基礎固めを行います。中国語の発音構造や特徴を理解し、簡単な挨拶表現ができる。中国語の基礎的な会話を行うことができる。中国語の側面にある文化を学習し、中国社会への理解を深めることができる。</p>	<p>いままで知らなかった中国のさまざまな側面を認識させ、中国語の側面にある文化や社会事情もある程度理解できるように工夫することによって、中国語を知ることによる楽しさを実感させた。授業では、教科書とオリジナル教材を使って、ゆっくりとしたペース(テキストを1週で1課ずつ)で授業を進め、学生が確実に内容を理解できるようにした。具体的には、附録の「決まり文句」を確実に身につけさせた。また、学生には、授業時間外で複数回の演習問題(教科書に付属する「別冊問題集」を使用)をさせ、授業の内容について振り返る機会を設けた。</p>	<p>評価は4.23 おおむね、良い評価であった。</p> <p>授業の良い点として、「ポイントが例文を使って分かりやすい教科書を使っている」、「リスニングがいい」、「アドバイスをしてくれる」、「楽しい」があった。また、逆に「かなり難しい」、「授業が厳しすぎる」のような意見もあった。今後は、もう少し授業の内容が多くなりすぎないように要点を絞り、分かりやすい授業の実施に努めていきたい。</p>
S191030 専門ゼミナール入門	<p>経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。</p>	<p>ゼミという学習スタイルが初めての学生に対し、一人一人の関心があること、経営に対する興味や好奇心を深めさせ、学生の反応を確認しながら指導をするように心がけた。ゼミでの少人数学習スタイルにより、学生同士が普段以上にお互いを理解し、交流しづらかった部分もなくなり、新たな交友関係の広がりを見ることができた。</p>	<p>評価は4.42</p> <p>授業の良い点として、「一人一人個別に指導してもらえる」、「指導が丁寧」、「リラックスして授業できる」、「いい環境です」、「アドバイスをしてくれる」、「楽しい」とのアンケートの結果だった。今後、授業アンケートの結果などを参考にするとともに、受講者の関心を考慮しながら、授業を工夫していきたい。</p>
S191037 国際コミュニケーション	<p>現代社会と国際コミュニケーション特徴を理解することができる。</p> <p>外国人を含めたすべての人との交流において、異文化国際コミュニケーションを意識する必要性に気づきさせ、コミュニケーション力を高め、国際コミュニケーションに必要な多様な知識を身につける。ビジネスパーソンとして必要な教養を身につけ、様々な異文化を知ることにより、そこに生きる人々の文化を理解し、共生できる社会への理解を深めることを目的にします。また、効果的に伝えるコミュニケーション能力を養うことを目的とします。</p>	<p>国際コミュニケーションは、海外に行つて外国人と直接交流することに限られるものではなく、日々の生活にも欠かせないものであることを伝えた。また、正しいコミュニケーションの知識を備えることで、多文化共生社会への理解を深めることができるということを、様々な事例を通して「異文化」と触れ合わせ、その考え方の違いに気づかせ、さらにグループ形式で受講生同士にディスカッションを行わせることで、より授業の内容への理解を深めさせた。最終的には個人発表をする機会に、積極性を評価するように心がけた。</p>	<p>評価は3.99.</p> <p>授業の良い点として、「英語学習、海外の色々な事を学べる」、「生徒の意見を実行にうつしてくれるところ」、「これからのためになる」、「他国と日本のコミュニケーションについて学べること」、「スライドが見やすい」、「国際的なことを知ることができる」などがあった。改善点してほしい点としては、「授業内課題のどの欄に書くべきなのかわからない時がある」があった。今後は、もう少し授業の内容が多くなりすぎないように要点を絞り、分かりやすい授業の実施に努めていきたい。</p>

S191037 国際コミュニケーション	現代社会と国際コミュニケーション特徴を理解することができる。外国人を含めたすべての人との交流において、異文化国際コミュニケーションを意識する必要性に気づきさせ、コミュニケーション力を高め、国際コミュニケーションに必要な多様な知識を身につける。ビジネスパーソンとして必要な教養を身につけ、様々な異文化を知ることにより、そこに生きる人々の文化を理解し、共生できる社会への理解を深めることを目的にします。また、効果的に伝えるコミュニケーション能力を養うことを目的とします。	国際コミュニケーションは、海外に行つて外国人と直接交流することに限られるものではなく、日々の生活にも欠かせないものであることを伝えた。また、正しいコミュニケーションの知識を備えることで、多文化共生社会への理解を深めることができるということを、様々な事例を通して「異文化」と触れ合わせ、その考え方の違いに気づかせ、さらにグループ形式で受講生同士にディスカッションを行わせることで、より授業の内容への理解を深めさせた。最終的には個人発表をする機会に、積極性を評価するように心がけた。	評価は3.99。 授業の良い点として、「英語学習、海外の色々な事を学べる」、「生徒の意見を実行にうつしてくれるところ」、「これからのためになる」、「他国と日本のコミュニケーションについて学べること」、「スライドが見やすい」、「国際的なことを知ることができる」などがあつた。改善点としては、「授業内課題のどの欄に書くべきなのか分からない時がある」があつた。今後は、もう少し授業の内容が多くなりすぎないように要点を絞り、分かりやすい授業の実施に努めていきたい。
S191066 専門ゼミナールⅡ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	毎回の授業内容への理解を深めるため、各自が感心を持つテーマについて主体的に調べさせ、考えてきたことを発言してもらつた。また、普段からゼミ生とのコミュニケーションを深めることに努め、一人一人が学習面で困っていることに応え、大学生活を楽しく続けるための意欲をだしてもらえらるるよう、学生に寄り添うことに努めた。	評価は4.20 ゼミ生は、まじめに取り組んでいますが、なかなか積極的には動かない部分があるため、やる気を出させるために、興味を持てるように授業内容を工夫したい。 ゼミ生一人一人へのきめ細やかな指導ができるよう心がける。
S191097 専門ゼミナールⅣ	日中間の文化的差異を深く理解し、中国をより深く知るための方法を身につける。自分で選択したテーマの研究成果を卒業論文にするための準備ができるようになる。ビジネス場面におけるプレゼンの前の段階として様々な前準備のやり方が身につく。	卒業論文の作成準備が主体となるが、各ゼミ生がこれまで学習してきたことを踏まえ、各自で自分が一番関心のあるテーマを選択、設定させ、毎週の授業時に、出された課題の進捗状況の報告と提出をさせ、ディスカッションを行いながら、研究を進めさせた。ゼミ生一人一人へのきめ細やかな指導に努めた。	評価は4.80。 改善してほしいところはなかったが、ゼミ生それぞれの卒論研究の進捗状況、就職活動に合わせて授業を進めた。今後これまでの授業スタイルを維持していきたい。
S191106 地域研究	中国に関する基礎知識を理解する。中国の社会変化を象徴する具体的な事例を通して、「中国」を客観的にみることができるようになる。現代中国社会に対する理解を深めることができる。中国のビジネスを理解するため、中国そのものを理解することを目的とします。具体的には中国人の考えを理解して中国への関心を高め、変化しつづける中国、そのような変化を中国人自身がどのように考えているかを、総合的に中国の文化と社会を理解することにより、中国のさまざまな社会問題を取り扱う基本的な方法論を身に付けることを目的とします。	講義形式で中国に関する基礎知識を講義した。授業内容への理解を深めるため、受講生同士でディスカッションを行わせたことにより、より授業の内容への理解を深めさせることができた。第12回と第13回の授業は各自が感心を持つテーマについて調べてもらい、発表させた。授業時間外で複数回の演習問題を行い、授業の内容についての各自に振り返りをさせる時間も設けた。	評価は4.60 授業アンケートの結果などを参考にすると、中国の色々な社会問題を内容とした難解なテーマもあると思われるが、できるだけイメージしやすくするように解説を加え、映像資料を豊富に取り入れて学生の理解を少しでも深めることができるように工夫していきたい。
S192033 専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	学生一人一人感心があること、経営への興味や関心を深め、学生の理解度を確認しながら指導ができるように心がけた。授業期間の終了時にはクラス全体が普段より互いに理解し、今までの互いの文化の違いによる誤解や、交流しづらかった部分がなくなり、新たな交友関係を広げることができた。	評価は4.20。 良い点として、「親身になって話を聞いてくれます」というものがあつた。望む改善点の記述はなかった。個々の学生へのきめ細やかな指導ができるよう心がけると同時に、授業内で疑問を共有し、共に考え、教え合うこともした。

S192051 観光概論【開放】	観光の基本を学ぶことができます。観光産業の基礎の成り立ちを知り、現代社会と観光との関わりを大まかに理解すること。さらに現代の観光産業について理解を深め、グループ学習や発表によって、現代の観光産業を各方面から分析し、その問題点を洗い出すことができるようになります。	3学科の開放科目で、それぞれが学習する専門分野や知識を踏まえたうえで、観光産業の基礎、概念、およびそれらの要素について学び、観光の特性と意義を理解するとともに、国内旅行、海外旅行、外国人の訪日などについての現状を理解し、様々な観光ビジネスについて自ら考えさせる時間設けた。グループ学習や発表によって、現代の観光産業を各方面から分析させ、その問題点を洗い出させることができた。授業の後半は他学科の学生とグループ編成をして、グループ発表させた。不安を感じながらも、大半の学生は自分と違う学科の人の考え方を知ることに向きな姿勢を持っていた。	評価は4.47 改善を望む点の記述として、特に意見はなかった。現状通りに授業を進めていきたい。また、「授業のスピードが速い」との意見があったため、以降、改善或いは考慮して授業を実施している。動画を導入するようにもした。
S192070 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	学生のグループワークの時間をより多く取るようにした。インゼミ発表会に合わせて、ゼミ生一人一人が学習した経営学的観点から、関心のあるテーマを選んでもらい、指導中はディスカッションを取り入れ、互いが興味をひく発問にペアワークで答えさせる機会を設け、議論した内容を発表させた。最終的には個人発表をするテーマに繋ぎ、ゼミ生が自主的に学習できるように工夫した。	評価は4.47。 授業の良い点として、「一人一人個別に指導してもらえ、指導が丁寧」、「リラックスして授業できて、いい環境です」、「アドバイスをしてくれる」、「楽しい」とのアンケートの結果だった。授業アンケートの結果などを参考にするとともに、受講者の関心を考慮しながら、授業内容を理解させることができるように授業を工夫していきたい。
S192080 国際社会貢献論	国際協力について学ぶには、その前提として、国際政治経済と社会の現状に関する理解が不可欠です。国際政治経済についての基礎知識を習得し、国際協力についての理解を深めることを目的とします。さらに、国際協力の手法を学ぶことを通じて、地域社会や国際社会でマネジメントできるようになることをめざします。	講義形式で国際協力に関する基礎知識を学習した。事前に受講生に主体的にいま話題となっている国際政治経済に関するテーマを取り上げて調べさせ、考えてきたことを発言してもらった。受講生同士にディスカッションを行わせることで、より授業の内容への理解を深めさせた。難しい国際社会の問題について、講義中にディスカッションを行ったり、国際政治や経済の現状に関心を持ってもらうため、具体的な事例を挙げながら、分かりやすく学習させることができた。	評価は3.70。 留学生も履修している科目で、一方に講義を進めるのではなく、日本人学生と留学生のそれぞれの文化の違いを意識しながら交流を持つきっかけをつくるよう配慮した。また互いの興味をひく発問をペアワークで答えさせる機会を設けた。
S192095 卒業研究	いままでゼミで習得してきたことをもとに、各自研究や課題となるテーマを見出し、研究テーマを選定し、そのテーマに向かって資料収集や調査を行いながら、文章をまとめる力を身につける。また、そのまとめについて、他の人に伝える力を身につける。	授業の前半は就職活動でゼミ生が全員揃うことがなかなか難しい状況だったため、個人指導が多かった。ゼミ生それぞれの卒論研究の進捗状況、就職活動に合わせて授業を進めた。学生の就職活動の時間を調整して授業以外の個別指導の時間を設けるようにした。各ゼミ生の進度に合わせた指導を心掛けた。	0

U192005 三河のまちづくりと観光	観光とは社会的、文化的現象のひとつであり、現代観光の仕組みや役割・影響・特長、観光を支える事業活動である観光事業を含め、観光に関する基礎的な知識を幅広く習得し、その全体像をつかむことを目的とします。観光産業の構成と特徴を理解することができる、観光政策と観光行政を理解し、観光と地域社会との関係性を理解することができる。三河地域のまちづくりと都市再生のアイデアを提案できる。	3学科共通科目で、それぞれ学習する専門分野の素材としてまちづくりに関心を持たせ、各学科における専門分野を踏まえたうえで、それぞれの学科の特徴を聞ける授業であり、建築だけではなく、経営も、デザインも勉強できる科目として、幅広い知識を得られることが好評だった。またゲストスピーカーの先生方(地域で活躍する方から直接話を聞ける)ことに大変関心を示していた。授業の後半は他学科の学生とグループ編成して、グループ発表させた。不安を感じながらも、大半の学生は自分と違う学科の人の考え方を事前に前向きな姿勢を持っていた。外部講師のお話に興味を持った学生が、活動場所を訪問し、詳しい活動の話聞き、その後も活動のお手伝いをしているという例もあり、外部講師の授業を通じて、地域の活動に積極的に参加している事例と言える。	評価は3.80 授業アンケートの結果などを参考にし、3学科の学生にも満足できる授業を目指したい。また3学科の学生それぞれの関心を考慮しながら、学科を超えた学生同士の交流ができるような授業を工夫していきたい。
L192037 中国語Ⅱ	中国語の発音構造や特徴を理解し、よく使われる基本的な表現ができる。中国語の文法の基本知識を応用できるようにすることを目的とします。中国語のそのものを勉強するだけではなく、中国語という言葉の側面にある文化や考え方についてもさらに深く理解することができる。	本講義では中国語の初学者を対象とし、文法の説明は最小限にとどめて、発音練習を中心に、中国語を多く聞き、たくさん話し、中国語への興味を育みながら楽しく学習させた。特に、日常の身近なテーマや場面で、学生が自分の意志を中国語で表現することや、中国語を話す楽しさを実感してもらった。テキストを1週で1課ずつというゆっくりとしたペースで進めた。また附録の「決まり文句」を確実に身につけさせた。授業時間外で複数回の演習問題を行わせ、授業の内容について振り返りをしてもらった。教科書の付属の「別冊問題集」を使用した。	評価は4.20 改善を望む点の記述として、特に意見はなかった。現状通りに授業を進めていきたい。また、「授業のスピードが速い」、「難しい」との意見もあった。授業を難しく感じている学生もいるので、具体例の解説を増やすなどの対応を行い、その後、改善はいは考慮して授業を実施している。
L191010 情報リテラシー(S1)	達成目標 ①情報倫理を身につけることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。受講者の情報リテラシー能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。	授業評価4.2 授業評価回答率 56.6% 授業評価は低いが、目標は達成されたと思う。 改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。
L191011 情報リテラシー(S2)	達成目標 ①情報倫理を身につけることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。受講者の情報リテラシー能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。	授業評価 4.2 授業評価回答率 49.3% 授業評価は低いが、目標は達成されたと思う。 改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。

L191012 情報リテラシー (A1)	<p>達成目標</p> <p>①情報倫理を身につけることができる。</p> <p>②簡単なビジネス文書を作成することができる。</p> <p>③簡単な表計算・グラフを作成することができる。</p>	<p>約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。</p> <p>受講者の情報リテラシー能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。</p> <p>教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。</p> <p>今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。</p>	<p>授業評価 3.7 授業評価回答率 100%</p> <p>授業評価は低いが、目標は達成されたと思う。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>
L191012 情報リテラシー (A1)	<p>達成目標</p> <p>①情報倫理を身につけることができる。</p> <p>②簡単なビジネス文書を作成することができる。</p> <p>③簡単な表計算・グラフを作成することができる。</p>	<p>約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。</p> <p>受講者の情報リテラシー能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。</p> <p>教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。</p> <p>今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。</p>	<p>授業評価 3.7 授業評価回答率 100%</p> <p>授業評価は低いが、目標は達成されたと思う。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>
L191013 情報リテラシー (SD1)	<p>達成目標</p> <p>①情報倫理を身につけることができる。</p> <p>②簡単なビジネス文書を作成することができる。</p> <p>③簡単な表計算・グラフを作成することができる。</p>	<p>約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。</p> <p>受講者の情報リテラシー能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。</p> <p>教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。</p> <p>今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。</p>	<p>授業評価 3.6 授業評価回答率 94.2%</p> <p>授業評価は低いが、目標は達成されたと思う。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>
L192007 プレゼンテーションツール (A1)	<p>達成目標</p> <p>①ICTの光と影を認識し、主体的に判断して行動することができる。</p> <p>②課題発見、問題解決にICTを活用することができる。</p> <p>③社外文書や表計算のデータベース化を修得し、プレゼンテーション能力を向上させることができる。</p>	<p>約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。</p> <p>受講者のプレゼンテーション能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。</p> <p>教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。</p> <p>今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。</p>	<p>授業評価 4.34 授業評価回答率 55.2%</p> <p>業評価は低いが、目標は達成されたと思う。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>
L192008 プレゼンテーションツール (SD1)	<p>達成目標</p> <p>①ICTの光と影を認識し、主体的に判断して行動することができる。</p> <p>②課題発見、問題解決にICTを活用することができる。</p> <p>③社外文書や表計算のデータベース化を修得し、プレゼンテーション能力を向上させることができる。</p>	<p>約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。</p> <p>受講者のプレゼンテーション能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。</p> <p>教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。</p> <p>今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。</p>	<p>授業評価 4.14 授業評価回答率 73.1%</p> <p>業評価は低いが、目標は達成されたと思う。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>

L192009 プレゼンテーションツール (S1)	<p>達成目標</p> <p>①ICTの光と影を認識し、主体的に判断して行動することができる。</p> <p>②課題発見、問題解決にICTを活用することができる。</p> <p>③社外文書や表計算のデータベース化を修得し、プレゼンテーション能力を向上させることができる。</p>	<p>約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。</p> <p>受講者のプレゼンテーション能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。</p> <p>今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。</p>	<p>授業評価 4.06</p> <p>授業評価回答率 32.5%</p> <p>業評価は低いが、目標は達成されたと思う。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>
L192010 プレゼンテーションツール S2A2SD2	<p>達成目標</p> <p>①ICTの光と影を認識し、主体的に判断して行動することができる。</p> <p>②課題発見、問題解決にICTを活用することができる。</p> <p>③社外文書や表計算のデータベース化を修得し、プレゼンテーション能力を向上させることができる。</p>	<p>約70名の学生を、実習形式で1教員で対応した。学生から不満の声が上がらないのはそれなりの努力の成果であると思う。</p> <p>受講者のプレゼンテーション能力は二極化され典型的なパターンである。学会等の事例に基づき対応が可能。教科書等に書かれてない裏技的なテクニックやコンピュータの原理を科学的に説明することにより学生は興味を示し受講した。</p> <p>今後は大学側も少人数教育にしなければ学生は育たない。</p>	<p>授業評価 4.46</p> <p>授業評価回答率 64.6%</p> <p>業評価は低いが、目標は達成されたと思う。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>
S191003 経営と情報	<p>達成目標</p> <p>経営に必要な情報について理解することができる。</p>	<p>150名近い受講者であった。出欠席の処理だけでもかなりの時間がかかった。</p> <p>授業は大教室においての講義のため受講者に目が行き届かない。</p> <p>ゆえに、課題はネット上で行ったが受講者のリテラシーが及ばず三回の課題が全て未提出しやが多くなり人数が不合格者となった。</p>	<p>授業評価 3.62</p> <p>授業評価回答率 44.1%</p> <p>授業評価・回答率とも低い。授業の関心なさに比例する。</p> <p>改善策は少人数教育である。大学側が真剣に取り組んでほしい。</p>
S191052 ネットワーク	<p>達成目標</p> <p>インターネットに関する基本的な知識を習得し、今後発展的な自己学習およびネットワークの設計ができる基礎知識が習得できる。</p>	<p>もともとは、高校の専門課程の「情報」の教員を養成する科目であるため専門性が深く経営学部の学生には難しいかもである。受講者はそれなりにあるが数学的な要素が入るた何回説明しても理解されない部分がある。</p> <p>マニアックな学生には、インターネットが理論的に分かり将来役に立つ科目である。</p> <p>具体的なことを教材にしても理解されない難しさがあった。</p>	<p>授業評価 3.76</p> <p>授業評価回答率 50.0%</p> <p>授業評価・回答率とも低い。授業の関心なさに比例する。</p> <p>算数の補習をしながらの授業を実施。</p>
S191057 専門ゼミナールⅡ	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>少人数であったため、資格取得の授業が実施でき、それなりの成果はでた。</p> <p>やはり少人数教育はすばらしい。</p>	<p>授業評価 4.5</p> <p>授業評価回答率 100%</p> <p>授業評価と、回答率が比例。</p>
S192056 ネットワーク演習	<p>達成目標</p> <p>1. LANケーブルの作成ができること</p> <p>2. TCP/IPの知識を習得</p> <p>3. 各種サーバの構築ができること</p> <p>4. 各種サーバの動きが理解できること</p> <p>5. ビジネスパーソンとしての倫理観が身につく。</p>	<p>廃棄用のパソコンにOSリナックスをインストールしサーバを構築しネットワークを作り上げる授業。LANケーブルも作成しプラモデルを作る要領である。</p> <p>マニアックな学生には、インターネットが理論的に分かり将来役に立つ科目である。</p> <p>英語が分からないとついていけない難しさがある。</p>	<p>授業評価 0.0</p> <p>授業評価回答率 0.0%</p> <p>アンケートを回答指導するのを忘れました。</p>
S192062 専門ゼミナールⅢ	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>卒業研究の前段階の授業が実施でき、それなりの成果はでた。</p> <p>やはり少人数教育はすばらしい。</p>	<p>授業評価 0.0</p> <p>授業評価回答率 0.0%</p> <p>アンケートを回答指導するのを忘れました。</p>

S192079 システム開発	<p>達成目標</p> <p>システム開発の進め方と、開発技法や設計書、テスト方法などに関する基礎知識を身につけることができる。</p>	<p>もともとは、高校教員免許「情報」の科目であった。企業に導入されている大規模コンピュータシステムの導入計画・設計・運用・新しいしすてむとの並行作業・旧システムの廃棄までの行程を学習する科目である。そのためマニアックな学生には、システムが理論的に分かり将来役に立つ科目である。しかし、現実的には単位不足の学生が受講するため授業進行に難があった。</p>	<p>授業評価 0.0 授業評価回答率 0.0%</p> <p>アンケートを回答指導するのを忘れました。</p>
S191070 専門ゼミナールⅡ	<p>達成目標</p> <p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>3年編入生の留学生2名の指導であった。本学科の留学生としては、日本語能力が高く、レポートの基礎を指導できた。実際の研究テーマにおいては、指導に多少苦労したが、専門ゼミナールⅢにつながるレベルの指導ができた。</p>	<p>成績評価5.0 (5.00,5.00,5.00,5.00,5.00)</p> <p>授業の達成目標の達成を目指しているが、実質的には、経営的視点のある論点を探し出すこと、客観的事実を元に考察させることが、なかなか難しい状況で、様々な工夫をしていく。今期に関しては、学生の頑張りで達成目標を達成できた。</p>
S191101 専門ゼミナールⅣ	<p>達成目標</p> <p>体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身につける。</p>	<p>1名の履修生に、卒業研究につながるよう指導した。</p>	<p>授業評価 なし</p> <p>卒業研究に向けて、明確に、テーマ、論点が決まれば、指導の方向性が決まるため、ていねいに指導していく。</p>
L191027 スポーツA (A, SD)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。 教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>	<p>予習レポートで、基本的知識を自ら学ばせ、動きの本質的な部分を、レクチャーしていった。受講生の取り組みもよく、充実した内容で、達成目標を達成できたと感じている。</p>	<p>授業評価 4.55 (4.68、4.41、4.48、4.63、4.54)</p> <p>GPIに比例して、達成目標に対する授業評価も高かった。58人の受講生に対して56名の回収率という状況での、この評価値は、積極的な学生には、現行の授業方法があっいるとも考える。さらに工夫しながら、改善していく。</p>
L191027 スポーツA (A, SD)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。 教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>	<p>予習レポートで、基本的知識を自ら学ばせ、動きの本質的な部分を、レクチャーしていった。受講生の取り組みもよく、充実した内容で、達成目標を達成できたと感じている。</p>	<p>授業評価 4.55 (4.68、4.41、4.48、4.63、4.54)</p> <p>GPIに比例して、達成目標に対する授業評価も高かった。58人の受講生に対して56名の回収率という状況での、この評価値は、積極的な学生には、現行の授業方法があっいるとも考える。さらに工夫しながら、改善していく。</p>
L191028 スポーツA (S)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。 教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>	<p>予習レポートで、基本的知識を自ら学ばせ、動きの本質的な部分を、レクチャーしていった。受講生の取り組みも悪くなく、ある程度、達成目標を達成できたと感じている。</p>	<p>授業評価 4.28 (4.21、4.08、4.29、4.50、4.29)</p> <p>造形学部対象の同科目と比較して、GPが低い分、達成目標に対する授業評価も多少低い状況であった。47人の受講生に対して51%の回収率という状況で、学生の積極性に差があったように感じる。いかに、モチベーションを高めながら取り組ませるか、さらに工夫しながら、改善していく。</p>

L191003 基礎ゼミナールⅠ (3学科合同)	大学生活のさまざまな事例を理解し、自らの責任においてそれらに対処することができる。 キャンパスでもとに過ごす仲間とのコミュニケーションを通して対処することができる。 学習ポートフォリオを作成することができる。	旧カリキュラムの基礎ゼミナールⅠの再履修のための特別開講であり、初年次の前期に履修することが意味のある科目で、授業内容、指導ともに工夫が必要であった。履修科目の指導以外は、様々なビデオを視聴し、その感想を書かせるという授業となった。欠席も多く、熱心には受講できない学生であったため、ていねいに指導することを心がけたが、最後までもたない学生が多かった。	授業評価 3.00 過年度生の初年次科目必修科目で、難しい面が授業評価にも表れたと推測している。 最終的に、1, 2名、次年度も特別開講の対象となる学生が残っている。必修科目であり、学生が卒業を目指す限り、少しでも実のある授業となるよう工夫していく。
L191039 スポーツⅢ 木3【卓球】	達成目標□ 卓球の基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。	受講生が、熱心に取り組んでくれたこともあり、基礎技能から、ルール、戦術まで、授業計画に沿って、指導できた。基礎技能、戦術など、ゲームの中で発揮するという達成目標は、指導者観点からは十分に達成できたと考え。	授業評価 4.83 (4.85, 4.69, 4.85, 4.85, 4.92) GP以上に、達成目標に対する授業評価が高かった。 旧カリキュラム科目で、次年度からは存在しないが、新カリキュラム科目に活かせるよう、指導方法を工夫していく。
S191001 スポーツ科学概論	達成目標□ スポーツに関わる者として必要であるスポーツ科学および周辺知識を習得できる。 スポーツ科学全般に加えスポーツ振興政策と社会体育論、スポーツに関する法的知識、スポーツ心理学、スポーツ組織論についても理解できる。 対象者の年齢に合わせたスポーツ指導の方法を理解できる。	新カリキュラム科目で、手探りの状態での、建部先生との共同授業であった。1年前期選択科目ということもあり、スポーツ科学全般をレクチャーするとともに、課題は、回答しやすい内容、量を心がけた。 本学経営学部のカリキュラムでは、ほとんどがマネジメント系の科目が用意されている中で、スポーツ科学全般を学生に理解させるのは、一部の興味ある学生以外には、難易度が高いと感じた。	授業評価 3.92 (4.04, 3.69, 3.92, 4.10, 3.84) 留学生を含む多くの学生(92名)が選択する中で、理解度、課題の記述能力等、授業として成立させるために、細かい工夫が必要である。レクチャー内容をよりわかりやすくするとともに、課題がきちんと書けるよう指導していく
S191036 スポーツ指導論Ⅰ	達成目標□ スポーツ指導者の立場や役割を理解できる。 スポーツ指導者に必要なスポーツ科学の知識を習得する。 スポーツ指導の過程を理解し、その実践方法を習得する。	旧カリキュラム最後の学年(2年)の授業ではあるが、初めての授業で、手探りでの授業であった。 日本体育協会(現日本スポーツ協会)の教材を中心に、学生が具体的にイメージできるよう、経験談や、現場の状況を伝えるようにした。	授業評価 4.10 (4.33, 4.25, 3.92, 3.83, 4.17) 旧カリキュラム科目で、新カリキュラムでは、スポーツ指導論Ⅰ、スポーツ指導論Ⅱあわせて、スポーツ指導論という新たな科目となる。 全体の構成を再構築して、必要な知識、考え方をしっかりと伝えていきたい。
S192074 専門ゼミナールⅢ	達成目標□ 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	研究テーマに関しては、学生のオリジナリティに任せていたこともあり、思い通りに進まない部分も見られた。 3年生のゼミナールとして、基本的な研究の進め方、プレゼンテーションの手法等は、身につけさせることができたと考え	授業評価 5.00 受講生の努力、モチベーションの高さで、達成目標に対する授業評価は高かった。次年度以降、必ずしも能力の高くない受講生に対して、どこまで指導できるかは未知数であるが、今年度の達成度に近くなるよう工夫していく。
S192099 卒業研究	達成目標□ 体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身につける。	今年度は、補助的に指導の形にしていただけであるため、自己評価はありません。	授業評価 なし 卒業研究の全体の流れは把握できたので、スムーズに卒業研究が完成できるよう工夫して指導する。
L192020 スポーツB【S】	達成目標 ①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。 教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。	31名の受講生に対して、2種目を前後半に分けて実施した。 学生にとっては、選択希望ではない種目も行うことになり、満足度、モチベーションを高く保てなかった部分もあったか考える。また、通常のスポーツ科目と比べ、各種目、半分の回数で終えることになったため、十分な達成度を得にくかったのではないかと推測している。	授業評価 4.38 回収率25.8% 受講人数による種目編成を行うため、難しい面があるが、学生のモチベーションを保てるよう工夫して行っていく。

L192019 スポーツB (A, SD)	<p>達成目標</p> <p>①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。</p> <p>②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。</p> <p>③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。</p> <p>教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索します。</p>	<p>教員2名による2種目に分かれての授業で、各種目35人程度と、実技を行う上で、適正な人数であったことに加え、受講生が積極的に取り組んでくれた。</p> <p>授業前に、予習課題として、授業で行う技術や戦術について、各自で調べることで、授業に臨む準備ができ、ある程度の知識を持ちながら、調べただけでは理解不足な点を、授業の中で学ばせることができたのではと考える。学んだことをミニゲームで発揮してみることで、新たな課題や、課題解決を模索させられたと考える。</p> <p>技術や戦術を身につけるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、時間的な配分も学生の状況に合わせて実施した。</p>	<p>授業評価4.67 回収率56%</p> <p>実際の成績に比例はしているが、成績評価以上に、授業評価が高かった。授業評価回答率が56%程度で、多少、授業評価が高い(達成目標の達成度が高い)学生に回答が偏った可能性も否定できない。</p> <p>スポーツが不得意な学生もいるため、技術練習において、より適切なアドバイスを与えながら、自分で成長を実感させられるよう工夫したい。</p>
S192013 体力とトレーニング【開放】	<p>達成目標</p> <p>体力の概念・測定方法・評価方法を習得できる。</p> <p>健康と体力の関係について理解できる。</p> <p>ライフステージに応じた健康問題と運動の視点についての知識を習得できる。</p>	<p>達成目標に沿って、体力とトレーニングについて、測定方法(体力テスト)やリハビリテーションを含めた運動処方まで、幅広く扱った。アスリートや、純粋にトレーニングを学びたいと考える学生にとっては、少し幅広く、興味の持てる講義と、興味の薄い講義が混在する科目となった。また、トレーニング理論を学ぶ上では、運動生理学の知識が必須で、1年後期の科目としては、かなり難しく感じる部分もあったのではないかと感じる。</p>	<p>授業評価 4.06 回収率37.4%</p> <p>解放科目で、受講生の3分の1が建築学科の学生であったことを鑑みても、達成目標に対する授業評価は微妙な結果となった。達成目標が幅広く、授業構成が難しい面もあるが、達成目標に近づけるよう、講義内容に工夫を加えていく</p>
S192041 スポーツ指導論Ⅱ	<p>達成目標</p> <p>スポーツの指導者として、スポーツのメカニズムを理解し適正な実践方法を習得する。</p>	<p>旧カリキュラム最後の学年(2年)の授業ではあるが、初めての授業で、手探りでの授業であった。</p> <p>日本体育協会(現日本スポーツ協会)の教材を中心に、学生が具体的にイメージできるよう、経験談や、現場の状況を伝えるようにした。</p>	<p>授業評価 4.44 回収率30.3%</p> <p>旧カリキュラム科目で、新カリキュラムでは、スポーツ指導論Ⅰ、スポーツ指導論Ⅱあわせて、スポーツ指導論という新たな科目となる。</p> <p>全体の構成を再構築して、必要な知識、考え方をしっかりと伝えていきたい。</p>
L191036法学(日本国憲法)	<p>達成目標</p> <p>日本国憲法における基本的な知識について理解し、法的問題に際し適切な法的思考や解釈をすることができる。</p> <p>日本国憲法の基本精神を学び、条文の趣旨を正しく解釈することを目的とする。</p>	<p>日本国憲法の基本精神を学び、条文の趣旨を正しく解釈することを目的とし、適正に運用できるリーガルマインドを身につけるように工夫した。実際に起こった従来の記事や主要判例を取り上げ、それを検討することで法制度を深く掘り下げることができた。答案において、判例を持ち出して検討しているものが多く、法制度のあるべき姿の考察に踏み込むことができたと考ええる。</p>	<p>授業評価4.22</p> <p>今後はより身近な話題を取り上げ、受講生が関心をもって、考えながら参加できる機会をもっと増やしていきたい。</p>
L192029法学(日本国憲法)	<p>達成目標</p> <p>日本国憲法における基本的な知識について理解し、法的問題に際し適切な法的思考や解釈をすることができる。</p> <p>日本国憲法の基本精神を学び、条文の趣旨を正しく解釈することを目的とする。</p>	<p>日本国憲法の基本精神を学び、条文の趣旨を正しく解釈することを目的とし、適正に運用できるリーガルマインドを身につけるように工夫した。実際に起こった従来の記事や主要判例を取り上げ、それを検討することで法制度を深く掘り下げることができた。答案において、判例を持ち出して検討しているものが多く、法制度のあるべき姿の考察に踏み込むことができたと考ええる。前期の同授業の受講生に比べて、判例の検討に戸惑うものがやや多かった。</p>	<p>授業評価4.09</p> <p>前期の同授業の受講生に比べて、判例評釈に苦慮していたものがやや多かったため、今後はより身近な話題を取り上げたい。受講生が関心をもって、考えながら参加できる機会をもっと増やしていきたい。</p>

S191010経営の基礎 I	<p>達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p>	<p>初年次教育の一環として、大学生としての基本的なスキルを身につける科目である。1年生の科目であり、まずはコミュニケーションを図ることで基本事項を着実に学んでもらった。質問を受け付けたり、課題の要点を再確認したりして、学習への不安をある程度除くことができた。ただし、メール等が不慣れな学生には、課題提出状況をみる限り、コミュニケーション不足の部分もあった。</p>	<p>授業評価3.30 次年度は担当せず。基礎を把握する授業なので、主体的に学習できるように積極的に話し合える場を、より多く設ける必要がある。</p>
S191010経営の基礎 I	<p>達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p>	<p>初年次教育の一環として、大学生としての基本的なスキルを身につける科目である。1年生の科目であり、まずはコミュニケーションを図ることで基本事項を着実に学んでもらった。質問を受け付けたり、課題の要点を再確認したりして、学習への不安をある程度除くことができた。ただし、メール等が不慣れな学生には、課題提出状況をみる限り、コミュニケーション不足の部分もあった。</p>	<p>授業評価3.30 次年度は担当せず。基礎を把握する授業なので、主体的に学習できるように積極的に話し合える場を、より多く設ける必要がある。</p>
S191015商法	<p>達成目標 企業法の中核をなす商法の知識を活用して、企業における法的トラブルに際し、企業の仕組みや規制を踏まえて正しく行動、対処することができる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。</p>	<p>企業法の中核をなす商法の諸問題に対して、学説や判例の検討も交えながら単なる法的知識にとどまらないように進めることができた。授業の進め方には大半が満足していたようである。とりわけ商行為に関する規定は、経営における法令を遵守すべく必要な資質につながるの、重点的に解説した。商法の立法趣旨を理解しながら、少なくとも取引の安全の意義を学んだものとする。</p>	<p>授業評価4.15 カリキュラム改定に伴い、次年度以降は開講せず。新科目では気軽に質問ができるように、メールを利用してその機会を増やしていきたい。</p>
S191018民法	<p>達成目標 民法の基礎知識を活用して、一般生活における法的トラブルについて冷静に対処することができる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。</p>	<p>私法の土台をなす民法の諸問題に対して、企業にかかわる部分を中心に、学説や判例の検討も交えながら単なる法的知識にとどまらないように進めることができた。授業の進め方には大半が満足していたようである。とりわけ契約に関する規定は、企業経営のみならず社会人として法令を遵守すべく必要な資質につながるの、重点的に解説した。法律体系を理解しながら、少なくとも民法の位置付けと意義を学んだものとする。</p>	<p>授業評価4.06 カリキュラム改定に伴い、次年度以降は開講せず。新科目では気軽に質問ができるように、メールを利用してその機会を増やしていきたい。</p>
S191063専門ゼミナール II	<p>達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>比較的多い受講生だが、授業以外にもコミュニケーションを図りながら進めることができた。授業では、いつのテーマを議論し、ある程度問題点掘り下げのために、論文の作成方法やプレゼンテーションの基本を中心におこなった。それにより、実施の発表やレポート提出の際に役立つと考える。資格や検定試験対策は、個々の希望に応じながら、補習等を利用して対応した。それぞれ過去問を中心とした対策は満足していたようである。</p>	<p>授業評価4.52 授業では全体に対して共通する内容を前半でおこない、後半でそれぞれの対応をおこなった。補習を含めた個別対応の時間を増やすことで、より個々の進捗に合わせていきたい。</p>
S191094専門ゼミナール IV	<p>達成目標 企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。 マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけるとともに、将来のキャリアに必要な資格あるいは公務員試験対策を通じて、専門的スキルを培う。</p>	<p>前年度から卒業論文のテーマを設定し、計画性をもってしっかり進めることができた。論文の書き方に重点を置きながら、それぞれが研究計画通りに進めることができた。就職活動や各種資格および検定試験対策もおこない、それぞれが自覚をもって行動できたようである。個別指導も実施することで、ある程度要望に応じて進めることができたことには満足していたと考える。</p>	<p>授業評価4.45 授業では全体に対して共通する内容を前半でおこない、後半でそれぞれの対応をおこなった。就職対策や各種資格および検定試験対策では、補習を含めた個別対応の時間を増やすことで、より個々の進捗に合わせていきたい。</p>

S191104行政政策	<p>達成目標 行政機関の持つ権限等について理解し、市民と行政機関との関わりについて正しく認識し、どうあるべきかを判断することができる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。</p>	<p>行政法や社会政策を中心に、市民本位の行政活動の実現に向けた法的統制理論の展開を確認したり、労働に関する従来の政策を見直したりして、論点に対して広い視野に立ち検討することができた。労働問題では、労働法や社会学、さらには労働経済学の視点から考えることにより、ある程度多角的な検討方法を学ぶことができた。就職前の4年生にとって有意義な学習ができたようである。</p>	<p>授業評価4.53 公務員試験対策につながる科目であり、一方的にならないように、受講生の意見を反映させながら双方向の授業をより展開したい。少なくとも、毎回、質問や意見を提出してもらい、それに対してコメントすることなどを採り入れたい。</p>
S192011経営の基礎Ⅱ	<p>達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。</p>	<p>初年次教育の一環として、大学生としての基本的なスキルを身につける科目である。1年生の科目であり、まずはコミュニケーションを図ることで基本事項を着実に学んでもらった。この授業では、大学祭における模擬店の出店等が主であり、受講生同士のコミュニケーションが求められた。大学祭が近づくにつれ、履修者は協力しながら、ある程度一致団結した運営を行っていた。受講生間のコミュニケーション不足と思われる場面では、担当教員が積極的に介入することで、ある程度補うことができた。と考える。</p>	<p>授業評価4.6 次年度は担当せず。基礎を把握する授業なので、主体的に学習できるように積極的に話し合える場を、より多く設ける必要がある。</p>
S192017法学概論	<p>達成目標 法の解釈など、法学習の基本的取り組み方やリーガルマインドについて理解することができる。 遭遇するであろう様々な法的局面で適切に対応することができる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。</p>	<p>教職科目であり、ディスカッションや発表を中心に授業を行ったところ、おおむねその方法に満足していたようである。毎回法学における論点を提示し、それに対する法律を理解してもらった上で、その正しい運用につき受講生の意見を聞きながら一定の結論を導いた。予め資料を読んでおく事前準備や授業終了時のまとめの作業により、問題点を深く掘り下げることができた。と考える。</p>	<p>授業評価4.14 次年度は一般学生も対象とした科目に変更され、受講生の増加が予測されるが、受講生の意見を反映させながら双方向の授業を展開したい。少なくとも、毎回、質問や意見を提出してもらい、それに対してコメントすることなどを採り入れたい。</p>
S192025労働法	<p>達成目標 労働法の知識を活用して、遭遇するであろうさまざまな職場のトラブルに際して、リーガルマインドをもって、冷静に法的対処をすることができる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。</p>	<p>アルバイト等で身近な労働法の諸問題に対して、学説や判例の検討も交えながら単なる法的知識にとどまらないように進めることができた。授業の進め方には大半が満足していたようである。とりわけ就職までの法律問題では、就職の際に今後起こり得るので、重点的に解説した。答案をみる限り、多くが判例を検討しており、法的思考力を一定水準得たもの。と考える。</p>	<p>授業評価4.05 おおむね授業の進め方には満足していたようであるが、課題を通じた予習復習の意識がないようである。より深く考察すべく、毎回の課題に対して宿題の設定を工夫したい。あらかじめ授業準備をさせる方法として、次回の基礎事項の配信を検討したい。</p>
S192026会社法	<p>達成目標 企業法、ビジネス法の知識を活用して、遭遇するであろう様々な企業を取り巻くトラブルに際して、冷静に対処することができる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。</p>	<p>企業法の中核をなす会社法の諸問題に対して、学説や判例の検討も交えながら単なる法的知識にとどまらないように進めることができた。授業の進め方には大半が満足していたようである。とりわけ取締役の義務をめぐる規定は、経営における法令を遵守すべく必要な資質につながる。と、重点的に解説した。答案をみる限り、起業する場合を含め会社経営に必要な基礎知識を一定水準得たもの。と考える。</p>	<p>授業評価4.27 カリキュラム改定に伴い、次年度以降は開講せず。新科目では気軽に質問ができるように、メールを利用してその機会を増やしていきたい。</p>
S192067専門ゼミナールⅢ	<p>達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断するための能力を培う。</p>	<p>比較的多い受講生だが、授業以外にもコミュニケーションを図りながら進めることができた。授業では、いつのテーマを議論し、ある程度問題点掘り下げることができたので、卒業論文に活かしたい。資格や検定試験対策は、個々の希望に応じながら、補習等を利用して対応した。それぞれ過去問を中心とした対策は満足していたようである。</p>	<p>授業評価4.64 授業では議論することで問題点を掘り下げることができ、レポート課題等をメールで添削しながら着実に進めることができた。より個々の進度に目を配りながら、このやり方を続けていきたい。</p>

L192092卒業研究	達成目標 企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。 マネジメントに必要な基礎的スキルを身につけるとともに、将来のキャリアに必要な資格あるいは公務員試験対策を通じて、専門的スキルを培う。	前年度から卒業論文のテーマを設定してもらい、計画性をもってしっかり取り組んでもらった。参考文献の収集や報告も事前準備によりスムーズにでき、研究計画通りに進めることができた。それぞれが自分のペースで綿密な計画の下、大学生として一定の水準をみたした論文が完成できたと思う。	授業評価5.00 全員がしっかり取り組むことができ、卒業論文を完成することができたが、進め方に満足していたようである。授業では議論することで問題点を掘り下げることができ、論文等はメールで添削しながら着実に進めることができた。このやり方を続けていきたい。
S191008 経営の基礎 I	達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	初年次教育として面談を頻繁に行い、相談に応じたり、課題の発見や対応を心がけた。 メンバーが親しくなるように相互交流を働きかけ、友だちづくりができる環境を整えた。大学生としての学修や生活の在り方の理解を促進し、自覚が得られたと考える。	授業評価4.27 初年次教育としての要素を重視しながらも、今後は科目名にふさわしく、経営学に関する内容を充実していきたい。
S191017 マーケティング論【開放】	達成目標 マーケティングの基礎理論について理解し、専門用語について説明でき、授業で学んだキーワードを活用して、企業のマーケティング戦略が分析できるようになる。 また自分自身でマーケティング戦略が立案できるようになる。	事例と理論を組み合わせ、日常生活に身近な学問であることをわかりやすく説明して理解を促した。 商品の現物を学生の前に提示して注目を集めるなどの工夫をした。授業を通して身につけたマーケティング・センスによって、実践的な顧客志向の判断ができるようになったと考える。	授業評価4.17 今後は事例紹介にあたり、写真だけではなく動画を取り入れ、テーマに対する関心を高めていきたい。
S191023 経営者論	達成目標 経営者に求められるリーダーシップ等の様々な要素を会得することができる。 また取り上げたケースから経営哲学について学び、事業及び事業外の活動における社会貢献を理解することができる。	ケース紹介を中心においた。新旧の名経営者と呼ばれる人々が経営のターニングポイントで何を考えたかを理解し、彼等の思考や行動を通じて、在るべき経営者像をイメージできるようになったと考える。	授業評価4.13 各経営者のリーダーシップや使命感、決断力を単なる事実にと留まらず、そのことによって当該企業が今日の我々の生活にどのように貢献しているのかという視点で解説するようにしたい。
S191023 経営者論	達成目標 経営者に求められるリーダーシップ等の様々な要素を会得することができる。 また取り上げたケースから経営哲学について学び、事業及び事業外の活動における社会貢献を理解することができる。	ケース紹介を中心においた。新旧の名経営者と呼ばれる人々が経営のターニングポイントで何を考えたかを理解し、彼等の思考や行動を通じて、在るべき経営者像をイメージできるようになったと考える。	授業評価4.13 各経営者のリーダーシップや使命感、決断力を単なる事実にと留まらず、そのことによって当該企業が今日の我々の生活にどのように貢献しているのかという視点で解説するようにしたい。
S191044 広告論【開放】	達成目標 広告の基礎理論について理解し、専門用語について説明でき、授業で学んだキーワードを活用して、企業の広告戦略が分析できるようになる。 また自分自身で広告戦略が立案できるようになる。	事例と理論を組み合わせ、日常生活に身近な学問であることをわかりやすく説明すると共に、マーケティングをはじめとする企業経営との関係について理解を促した。 広告賞を受賞したレベルの高いCMを事例としてとりあげ、関心を高める工夫をした。	授業評価4.05 事例紹介にあたり、テレビCMの動画に加え、Webムービーやデジタルサイネージなどデジタル技術を活用した最先端のケースを取り入れ、テーマに対する関心を高めたい。
S191068 専門ゼミナール II	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	ケース分析の結果を、相互に意見交換をしながらプレゼンテーションすることで、プレゼン能力並びに意見や批判を受け止め、考え続けていく探求力を身につけることができたと思う。	授業評価4.95 今後は、取り組んだ一つのケーススタディから、学生にとって別の関心のあるケースへと連続的に発展させ、自主的にテーマに取り組むように指導を行いたい。
S191099 専門ゼミナール IV	達成目標 企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。	事例にあたりながら卒論のテーマを絞っていき、プレゼンテーションとディスカッションを行うことで、表現能力が身についたと考える。	授業評価 回答無し 卒論テーマに応じて個別に参考文献の紹介や調査の基本的な考え方などを提示し、テクニカルな指導を段階的に加えるようにしたい。
L192034 キャリアデザイン VI (S)	達成目標 就職活動に必要な企業研究の方法を修得し、志望企業リストを立案できるようにします。 エントリーシート、履歴書作成に必要な自己PRを作成します。面接試験に必要な技術を身につけます。	就職活動に向けて、企業・業界研究、自己分析、履歴書・ES作成、グループディスカッション、面接などの就活プロセスを学習したり体験することで、就活対策として有効に機能したと考えられる。	授業評価4.33 履修者が多数にのぼり限界はあるものの、自己分析や履歴書作成などできめ細かな個別指導を行いたい。

S192004 経営と流行	達成目標 過去から今日に至るまでの経営手法を理解することができる。 時代に適応したビジネスモデルを理解することができる。	明治時代から今日に至るまでの企業経営において、各時代における中心的な経済・産業政策や事業運営の手法を解説することで、将来を考え、未来へとつながる経営の視点を持つことができたと思う。	授業評価4.40 歴史的なインパクトに留まらず、現代の経営に対する影響力や価値が可視化できるように、授業内容にストーリー性を持たせたい。
S192009 経営の基礎Ⅱ	達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	マーケティングや金融といった経営学における基本的な考え方や専門用語を理解・活用できるようになった。また原山祭への参加を通じて、団結力、チームワーク、協調性、企画力を習得し、愛校心を育むことができたと思う。	授業評価4.15 原山祭のグループワーク参画の目的の一つとして、経営的なセンスの修得であることを理解させ、目的意識を明確化して参画意欲を高めたい。
S192072 専門ゼミナールⅢ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	専門ゼミナールⅡで取り組んだ内容を土台とし、さらに関心のあるテーマに絞って調査を行った。その成果を他のゼミと共同で発表するインゼミを経験することでプレゼン能力が向上し、さらに他者の意見や助言を基にステップアップすることができたと思う。	授業評価4.63 専門ゼミナールⅡで学習したケーススタディに関連して、最新の事象や変化をトピックスとして紹介し、研究テーマの検討にあたっての情報を質量ともに充実したい。
S192097 卒業研究	達成目標 企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。	卒業論文の作成を個別指導し、文献調査やインタビュー調査の手法の基本を指導した。その結果、個人差はあるものの課題発見力や論理的思考力が身についた。また論文執筆や卒論審査会でのプレゼンテーションを通じ、文章表現力や口頭表現力を養うことができた。ゼミ生全員が一定レベルの卒論を完成することができたと思う。	授業評価5.00 今後は卒論執筆の指導において、各人の能力に応じ、よりきめ細かな個別対応を図りたい。
U192004 マーケティングと広告	達成目標 ①マーケティングと広告の関係を理解することができる。 ②広告の媒体と表現について、現在の動向を理解することができる。 ③商品やサービス、企業を想定して、広告制作のプランニングをすることができる。	事例と理論を組み合わせ、マーケティングと広告が日常生活に身近な学問であることをわかりやすく説明するように心掛けた。 広告賞を受賞したり話題となった評価の高いCMを事例としてとりあげ、関心を高めると同時に理解を促す工夫をした。	授業評価4.36 理論的な解説はある程度絞り、広告企画の立案や企業のマーケティング分析の課題に取り組むウェートを増やしていきたい。
S191019 企業論	達成目標 企業体制発展の原理を学ぶことによって、現代企業にとって真に必要なこととは何かを理解できるようになる。 株式会社の仕組みを学ぶことによって、大企業の姿を理解できるようになる。	企業はどの様に発展し変化していくのかということをまずは理解してもらい、その上で現代企業の主流である株式会社について詳細に学んでもらう構成である。授業構成上テキストに掲載されていない項目も多く取り上げ、またホワイトボードに板書する古典的な手法で授業を行ったが、個人的には授業を行う上で一番楽しいと感じた科目であった。反面学生の立場からすると、席の位置によっては字が読みにくかったり、テキストの活用率が低めになったりと粗が出てくる場面があった所は否定出来ない。履修者90名超の大人数授業だったので、課題の返却や回収に時間がかかる傾向もあった。授業自体は最後なるべく課題をまとめる時間を確保するよう努めた。	授業評価3.91 履修人数が多めの科目にありがちではあるものの、数値的には決して高くはない。テキストがカバーする範囲に限りがあることと、板書方式のため見辛い等敷居の高さを感じさせてしまっているとも考えられる。本科目は旧カリ科目のため2019年度が最後となったが、読替科目の「企業とCSR」においては授業内容を全て指定テキストでカバーしたり、パワーポイントを使用して観易さの改善に努めている。

S191064 専門ゼミナールⅡ	<p>達成目標・目的 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>企業の社会的責任(CSR)についての入門書的なテキストを使い、CSR上のトピックについて学び理解を深めることと、その延長線上で後期のインゼミに向けた発表の材料をストックしていくことに重点を置いたゼミである。 ゼミのメンバーは比較的眞面目に取り組んでいるグループと、そうでないグループの半々にはっきりと分かれてしまい、眞面目で無いグループに如何にテーマに取り組ませるかについては常に神経質にならざるを得なかった。前期の段階ではグループごとの学力に差が出てしまったきらいはある。</p>	<p>授業評価4.67 小人数による評価のため評価値は参考程度と考えられる。テキストのレベルは適切と考えているものの、活用方法についてはもっとゼミ生に考えさせてから結論を出させる様なやり方を押し出した方が良いかと考えている。</p>
S191095 専門ゼミナールⅣ	<p>達成目標・目的 CSR関係の問題に関連したテーマを自ら制定し、そのテーマを調査・研究し解明していく。それによって社会に眞摯に仕える能力を身につけることができるようになる。自分の気になるCSR関連の事例について自ら調べ発表してもらい、その上で卒業論文のテーマを定めていく。</p>	<p>小野ゼミで学んできたCSR関連の内容を基本として、卒業論文のテーマ候補を幾つか挙げてから最終的には一つに絞り、卒論作成に向けた環境整備を進めていくゼミである。2018年度は中々眞面目に取り組まないゼミ生が大半で苦労したが、2019年度は比較的眞面目なゼミ生が多く、濃淡はあるものの割合スムーズに進めることが出来た。ゼミ生の中には直接CSRには関係しないテーマで確定した者も出た。</p>	<p>授業評価4.08 2018年度の反省を踏まえて、早期に卒論作成の参考資料となる図書を購入することを促しているが、この点については中々ゼミ生側の腰が重い所があるので、図書購入に向けたモチベーションを向上させるための方策を色々と考えていきたい。また学年によってゼミ生の傾向が異なるので、それぞれの学年のカラーに応じた対応も必要だと考えている。</p>
S191095 専門ゼミナールⅣ	<p>達成目標・目的 CSR関係の問題に関連したテーマを自ら制定し、そのテーマを調査・研究し解明していく。それによって社会に眞摯に仕える能力を身につけることができるようになる。自分の気になるCSR関連の事例について自ら調べ発表してもらい、その上で卒業論文のテーマを定めていく。</p>	<p>小野ゼミで学んできたCSR関連の内容を基本として、卒業論文のテーマ候補を幾つか挙げてから最終的には一つに絞り、卒論作成に向けた環境整備を進めていくゼミである。2018年度は中々眞面目に取り組まないゼミ生が大半で苦労したが、2019年度は比較的眞面目なゼミ生が多く、濃淡はあるものの割合スムーズに進めることが出来た。ゼミ生の中には直接CSRには関係しないテーマで確定した者も出た。</p>	<p>授業評価4.08 2018年度の反省を踏まえて、早期に卒論作成の参考資料となる図書を購入することを促しているが、この点については中々ゼミ生側の腰が重い所があるので、図書購入に向けたモチベーションを向上させるための方策を色々と考えていきたい。また学年によってゼミ生の傾向が異なるので、それぞれの学年のカラーに応じた対応も必要だと考えている。</p>
S191082 環境マネジメント論	<p>達成目標 企業を取り巻く様々な経営環境に対応するべく、企業に求められるCSR基準を理解することにより、ビジネスにおける環境対応能力を養い向上させることを目標とする。</p>	<p>企業の社会的責任(CSR)の中では比較的高度な内容を取り上げ、現代において企業はどの様にCSRに向き合わなければならないのか、取り分けISO26000を中心としたCSR基準を学習することで、企業活動の在り方を理解してもらう趣旨の授業である。この科目における「環境」とは「企業を取り巻く周辺環境」のことで、その前提で授業を進めた。 規格や基準の話が多く、内容によっては高度なので聴く側としては単調に映りがちだが、2019年度の履修学生は小人数ながら比較的眞面目に聴講した学生が多く、比較的授業を進めやすかった。</p>	<p>授業評価4.23 履修者が小人数かつ回答者数は更に少ないので参考値程度だが、予想よりは高い数値になったと感じている。この授業はややすると単調な話になりがちなので、如何に興味を持ってくれるか、その為には現実世界においてどれだけ関連があり重要であるかを理解してもらうことが大切と考えている。パワーポイントの見せ方とかに一工夫考えていきたい。</p>
S191026 専門ゼミナール入門	<p>達成目標・目的 経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。 総合経営学科の専門教育を履修していく自立的学習を支援するために、経営における総合的判断力を育てていく。この関心や興味が履修モデルによる学習計画に反映され、総合経営学科の様々な分野の中から、自らの能力や適正にあった学習志向を見定めるよう支援する。</p>	<p>2年生の段階であり、ゼミ生の興味もまとまっていないことから、誰でも取り組める題材として「自分が今気になっている業界の研究」というテーマで取り組ませた。2018年度もそうであったが、非常に眞面目に取り組むグループと、そうでないグループに分かれてしまい、ゼミのまとまりという意味では今ひとつな状況になってしまった。眞面目に取り組んだゼミ生のグループの人達にとっては物足りない内容になってしまったように思える。</p>	<p>授業評価3.78 眞面目に取り組んだ学生にとっては物足りない一方、そうでない学生にとっても個人差が出たりと、取り分けプレゼンテーションの場において顕著な差が出てしまった。年によってゼミ生の傾向が異なることは避けられないが、余り総花的では無く、その傾向を利用したテーマ設定を意識する必要があると考えている。</p>

S191046 経営哲学特講 I	<p>達成目標 現役経営者の講義から、将来自分が経営者・管理者に就任した時に必要な経営実践のヒントを学び取ることができるようになる。講義の内容を理解し、講義内容の要点を授業時間内課題に的確にまとめられることができるようになる。</p>	<p>この授業の主旨は、普段は企業や団体のトップとして活躍している経営者の方々が就任する特別講師であり、彼らが正に実践している経営について、求められていることや理念、成功事例や失敗談等を直に語って戴ける点に醍醐味がある。その意味では特別講師によって当たり外れが出る可能性があるが、最近では就任交渉時になるべく学生が共感出来る様なお話(上から目線では無く)を依頼しているからか、概ね真面目に聴講する履修学生が多い。特別講師に対して失礼の無いようにリクルースタイルを着用させたり等のルールを定めているが、履修学生によっては徹底しきれていない場合もあり、如何に意識づけを徹底させるかが課題である。</p>	<p>授業評価3.94 評価点としては平均的だが、この授業は特別講義の講義終了直後に授業内課題の作成を義務づけているので、その点が重荷になっている履修学生も多い様である。ただ課題作成能力は将来の社会人生活にも役に立つはずであり、本科目を受講することにおける(将来の)メリット面をもっと日頃から意識づけするような仕組みづくりを心掛けていきたい。</p>
S191021 経営管理論 I	<p>達成目標 管理者の仕事・役割について理解し、企業や会社で実際にマネジメントできる。経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報など)を活用し、管理・組織化する方法について総合的に判断できる。</p>	<p>経営を行う際に求められる経営管理(マネジメント)について、理論を学びながら理解を深めていくことを目的とした科目であり、時にビデオを用いて事例学習を行い経営そのものについて親しみを深めてもらう仕掛けもしている。ただ2019年度のビデオ学習においては、機材トラブルが発生したため満足に行えない回が発生してしまった。またパワーポイント資料の出来映えが陳腐化しているきらいがあり、所々マイナーチェンジを行っているものの、抜本的に修正する必要性を感じている。</p>	<p>授業評価3.99 評価自体は平均的であるが、授業資料自体をいずれ大幅に改良してより分かりやすいものにしていく必要性を感じている。経営管理論 I としては旧カリ科目のため2019年度限りであることから、次年度以降の読替科目「経営管理論」において意識的に改良に取り組んでいきたい。</p>
S192002 企業とCSR	<p>達成目標 企業が発展するにつれて、自らの社会的責任を果たす必然性が出てくることを理解することができる。企業の社会的責任(CSR)の内容について理解することができる。</p>	<p>今年度初めてスタートした科目であり、CSRIについての入門編的な科目であるが、新カリキュラムにおいては旧カリキュラムの「経営学総論」で学ぶ内容が激減してしまったことで、一部本科目で補っている部分がある。また旧カリ科目「企業論」の読替科目でもあり、企業体制発展の原理を学ぶことでCSRを果たす根拠を理解するという同科目の趣旨を引き継いでいる。テキストに沿って実施している方式であるが、1年生科目のため「広く浅く」進めていく必要もあり、余り細かく展開出来ない点には少々ジレンマも感じている。なお授業実施中にパワーポイントの字が読みにくいという指摘があったので、以後の授業では改良を試みた。</p>	<p>授業評価:3.86 履修者が121名にも上る科目であるにも関わらず回答者が僅か25名のため、この評価をどう受け止めるべきか固りかねる所はあるものの、難しくなり過ぎず、同時に薄くなり過ぎずということを意識して小まめに改善を続けていきたい。</p>
S192029 専門ゼミナール I	<p>達成目標 経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。</p>	<p>後期の専門ゼミ I は同じジャンルの商品を二つ調べ比較を行い、最終的にはプレゼンテーションにて優劣を判定するという流れで進めていった。やはりというか、前期同様に真面目に取り組んだゼミ生のグループと、そうでないグループとの格差が大きく、前者にとっては物足りなさが、後者にとっては元々からくるやる気のなさが露わになってしまった所は否めない。その年その年のゼミ生の傾向に合わせて、テーマ設定を工夫する必要があるとも感じている。</p>	<p>(回答者無し)</p>

S192068 専門ゼミナールⅢ	<p>達成目標・目的 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>前期の専門ゼミⅡで学んできたCSRの知識を基盤として、CSRIに関連したテーマを一つ設定させた上でインゼミでの発表に向けて準備させる流れであった。実際のインゼミにおいては真面目に取り組んできたゼミ生とそうでないゼミ生の差が露わになってしまった点は否めない。余り真面目に取り組まなかったゼミ生については、CSRといった「テーマ縛り」に拘らない方が良いのかも知れないが、その場合小野ゼミで学ぶ意義が薄れてくるのでジレンマを感じる所ではある。</p>	<p>授業評価:4.53 回答者がごく少数のため参考値といった所。大まかな共通テーマはCSRに関連した内容という部分に今後も拘っていくつもりであるが、必要に応じてゼミ生によってはより彼らの得意分野と結びつける形で発表にのぞませる工夫も考えていきたい。</p>
S192093 卒業研究	<p>達成目標 自らの手でテーマを制定し、そのテーマを解明すべく調べていくが、卒業論文という形はそのテーマが自分なりに解明できたことの証＝一つの達成目標となる。それによって社会に真摯に仕える能力を身につけることができるようになる。</p>	<p>卒業論文を完成させるためのゼミであり、小野ゼミにおいてはCSRIに関連したテーマで作成させる方針であるが、ゼミ生によっては本筋CSRとは異なるテーマで卒論を仕上げた者もいた(ただCSR的な要素は一部盛り込ませた)。もっとも発表時にテーマ自体やCSRについての説明が上手く行かず、理解が徹底しきれていないと感じさせられた所はあった。ネット資料に頼らないよう指導してきた点は各ゼミ生とも理解できており、この点は前年度のゼミ生に比べると上手くいったと感じている。</p>	<p>授業評価:3.70 回答者が2人と極端に少ないので参考値。ただCSRという大まかな「縛り」が卒論執筆のやりにくさにつながっているとすれば、卒論テーマ設定の上でもう少し縛りを緩めてみることも一つの手かと考えている。またテーマによっては参考図書が入手しにくいケースもあるので、図書の入手のし易さという観点からテーマ設定を行うよう指導していきたい。</p>
S192022 経営管理論Ⅱ	<p>達成目標 管理者の仕事・役割について理解し、企業や会社で実際にマネジメントできる。 経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報など)を活用し、管理・組織化する方法について総合的に判断できる。</p>	<p>前期の経営管理論Ⅰと同様、経営を行う際に求められる経営管理(マネジメント)について、理論を学びながら理解を深めていくことを目的とした科目であり、時にビデオを用いて事例学習を行い経営そのものについて親しみを深めてもらう仕掛けもしている。もっともビデオ資料が回数によっては古くなってしまったものもある。またⅠと同様パワーポイント資料の出来映えが陳腐化しているくらいがあり、所々マイナーチェンジを行っているものの、抜本的に修正する必要性を感じている。</p>	<p>授業評価:4.06 70人近い履修者ながら回答者が20名しかいなかったことで、正確な判断はしにくい所ではあるが、授業資料の陳腐化が影響しているとも個人的には感じる。本科目は2019年度が最後となるが、新カリにおける読替科目は1年生科目「スポーツ経営管理論」であり、互換性という面では不安材料が残る所。新カリ科目「経営管理論」になるべく内容を反映させられないか、総合的に判断していきたい。</p>
S192047 経営哲学特講Ⅱ	<p>達成目標 現役経営者の講義から、将来自分が経営者・管理者に就任した時に必要な経営実践のヒントを学び取ることができるようになる。講義の内容を理解し、講義内容の要点を授業時間内課題に的確にまとめられることができるようになる。</p>	<p>前期の経営哲学特講Ⅰと同様この授業の主役は、普段は企業や団体のトップとして活躍している経営者の方々が就任する特別講師であり、彼らが正に実践している経営について、求められていることや理念、成功事例や失敗談等を直に語って戴ける点に醍醐味がある。その意味では特別講師によって当たり外れが出る可能性があるが、最近では就任交渉時になるべく学生が共感出来る様なお話(上から目線では無く)を依頼しているからか、概ね真面目に聴講する履修学生が多い。特別講師に対して失礼の無いようにリクルースタイルを着用させたり等のルールを定めているが、履修学生によっては徹底しきれていない場合もある。取り分け後期になると悪い意味で場慣れしてきた履修学生も見かけたので、如何に意識づけを徹底させるかが課題である。</p>	<p>授業評価:4.30 履修者が130人近いのに回答者が僅か25名ということで、正直参考値程度といった所であろう。履修学生の受講態度において、一部ではあるが問題行動も見かけたので、取り分け最初の段階で意識づけを徹底させることを心掛けていきたい。</p>

S192053 経営倫理	達成目標 企業不祥事が世の中をにぎわす中、経営に何故倫理が求められるのか、企業の社会的責任(CSR)の必要性を踏まえながら理解できるようになる。ビジネスパーソンとして必要な職業的倫理観を身につけることができるようになる。	経営という仕事には古来から倫理観が求められるということ、日本のCSRのルーツである石田梅岩の「石門心学」を中心に学んでいくことで理解し、経営倫理の重要性を学んでいく趣旨の授業である。以前パワーポイントの画面が見辛いという指摘を受けたことがあり、小まめにマイナーチェンジを試みている。個人的には後期で一番授業を行う際面白いと感じている科目である。	授業評価:4.40 履修者が100名近いながら、回答者数は20名にも満たなかったので正直参考値程度であるが、古文の表現が出てくる等難しい内容も含みながらそれなりの評価が得られたのは、授業自体の面白さがある程度感じてもらうことが出来たからなのかも知っている。授業のマイナーチェンジは今後も続けて行くが、旧カリ科目のため2020年度が最後となるのが惜しい。
情報リテラシー	達成目標 ①情報倫理を身につけることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	情報リテラシーの再履修クラス。常時出席するのは2名ほどで、あとは毎回出席する学生がかわるような状況である。前回の授業に積み増していく授業であるが、常時出席する学生の対応と、欠席して前回分の蓄積のない学生のフォローに手こずった。受講生が少数ということもあり、各々の理解度および進度にあわせて、丁寧な説明を心掛けた。	授業評価 3.00 回答率 16.67 次年度は担当しない科目であるが、このような演習科目については、少数の受講生に対する個別対応が必要であると思われる。
現代生活と会計	達成目標 帳簿記入をする上で簿記一巡(貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ)を理解することができる。基本的な項目である現金の処理、商品売買の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。	簿記の経験者も多く、そうした受講生にはたらい授業になるが、他方で留学生や簿記の初心者も多いので、言葉をできる限りはつきりとし、丁寧な説明を心掛けている。簿記は理解するだけでなく、演習問題を繰り返し実施しないと身につかない科目であるが、授業の中で、十分な演習時間を取ることの難しさを感じている。	授業評価 3.68 回答率 3.68 簿記は、勘定科目を言語として用いている。勘定科目を理解すれば、ほぼ全てのことが理解できる。勘定科目は、漢字を見れば、おおよその意味はわかるものであるが、近年は、漢字圏でない国からの留学生が増えているため、理解が難しそうである。用語の意味の説明等に時間がかかり、やはり演習問題を解く時間の確保が難しいが、できる限り、時間の確保に努めていきたい。
専門ゼミナールⅡ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	実際の企業の財務諸表をもとに財務分析を進めようとしたが、ゼミメンバーの会計知識の差が激しく、進められなかったため、上場企業の決算書を読むのに必要な会計知識を補うよう、輪読を行った。学生のプレゼンテーションに関する補足資料を用意し、時間をかけて解説をし、理解を深められるよう努めた。	授業評価 4.70 回答率 66.67 ゼミナールのメンバーにあわせ、授業の進め方を変更したことが、授業評価につながったと考えられる。
専門ゼミナールⅡ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。	実際の企業の財務諸表をもとに財務分析を進めようとしたが、ゼミメンバーの会計知識の差が激しく、進められなかったため、上場企業の決算書を読むのに必要な会計知識を補うよう、輪読を行った。学生のプレゼンテーションに関する補足資料を用意し、時間をかけて解説をし、理解を深められるよう努めた。	授業評価 4.70 回答率 66.67 ゼミナールのメンバーにあわせ、授業の進め方を変更したことが、授業評価につながったと考えられる。
専門ゼミナールⅣ	達成目標 財務会計に関するテーマ設定、テーマに沿った資料収集・文献読解、卒業論文の作成をとおして、財務会計を体系的に理解できる。	留学生だけのゼミナールとなった。ウェブ上の資料の切り貼りして論文を作成しようとするので、論文のストーリーの立て方や、資料収集、文献読解について指導するのに苦慮した。時間をかけて、何度もやり直しをさせ、毎週報告するという形式をとった。	授業評価 4.60 回答率 50.00 就職活動等により欠席することが多く、その度に、一からの指導となった。1・2年次から、基本的なレポートの書き方について、徹底的に指導する必要性を強く感じた。

上級簿記	達成目標 会計専門用語や仕訳を理解し、貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書等を作成することができる。	日商簿記検定2級の商業簿記レベルを修得することを目標とする科目である。「現代生活と会計」や「簿記Ⅰ」とは、難易度に各段の差がある。また、学習量(範囲)も多い。簿記が嫌いではないから受講している学生と真剣に日商検定を受験しようと思って受講している学生とで2極化が生じているが、個別対応が難しい。解説するテーマを絞って、できる限り丁寧な説明を心掛けた。	授業評価 4.10 回答率 42.86 解説するテーマを絞っているため、説明できないテーマを独学で学習できるようなテキストを選定したことが、受講生の理解を助けたように思われる。
専門ゼミナール入門	達成目標 経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	簿記検定試験の受験を希望する受講生が多く、簿記の学習を中心に進めた。検定試験の近年大幅に改定された部分の解説については、映像資料を用いることで、学生の集中力の維持に努めた。また、それと並行して、課題についてのプレゼンテーションも行った。	授業評価 3.87 回答率 50.00 簿記の学習とプレゼンテーションによって授業にメリハリが付き、集中力の維持ができたように思われる。意見交換も楽しみながらできたように思われる。
財務会計論	達成目標 財務会計の基本的な枠組みおよび会計特有の用語や概念を把握・理解すること、また近年の会計制度の変化の主要な流れとその背景を理解することで会計理論を習得できる。	授業内で学生に対する問いかけを増やすとともに、発言点を設けて、授業の活性化に努めた。毎授業末には、まとめシートに、その回の授業テーマに関する課題についてまとめさせ、授業理解を確認した。専門用語についても、できるだけ学生の身近なものを例えにして説明し、理解を促した。	授業評価 4.10 回答率 61.90 後半の授業で、問いかけ回数が減ったので、学生の集中力を絶やさないためにも、問いかけしていきたい。毎回の授業のまとめによって、学生の理解が進んだように思われるので、この方法は続けていきたい。
監査論	達成目標 会計監査の概要や株式会社の財務報告制度を理解し、監査報告書が理解できる。	監査は、学生にとってイメージしにくいものと思われるので、実際の事例にもとづいた説明を行うことで、理解を促した。毎回、授業の最後には、事例に関する問いかけを行い、それをまとめシートに解答させる形式をとった。	授業評価 3.80 回答率 33.3 監査の論点と関連する事例、監査制度の歴史と関連する事例は、古いものもあり、なかなか身近に感じるのには難しいようである。また、事件そのものが複雑なものも多く、イメージするのが難しくその深掘りは控えて、監査論点に重点をおいて説明していきたい。
日本の経営文化	達成目標 日本企業の経営にはどのような文化的背景があるのかを理解できる。日本の経営文化がビジネスにもたらす影響を理解できる。	留学生対象の科目である。経営学の基礎的なテキストを用いて説明を行った。テキストを輪読したり、まとめを書いたりする時間を多く取ることに努めた。	授業評価 4.40 回答率 2.5 文字の多いテキストと文字の多い説明用スライドを用いたので、学生の集中力を維持するのが難しかった。今後は、映像資料なども用いながら、集中力を維持できるような工夫をしていきたい。
専門ゼミナールⅠ	達成目標 経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	簿記検定試験の受験を希望する受講生が多く、簿記の学習を中心に進めた。検定試験の近年大幅に改定された部分の解説については、映像資料を用いることで、学生の集中力の維持に努めた。また、それと並行して、課題についてのプレゼンテーションも行った。	授業評価 4.23 回答率 58.3 簿記の学習とプレゼンテーションによって授業にメリハリが付き、集中力の維持ができたように思われる。意見交換も楽しみながらできたように思われる。

簿記 I	<p>達成目標 「現代生活と会計」で学習した内容を基礎とし、さまざまな取引(株式会社の会計処理を含む)を理解することができる。試算表および精算表を作成し、勘定式の貸借対照表および損益計算書を作成することができる。</p>	<p>簿記の経験者も多く、そうした受講生にはたらい授業になるが、他方で留学生や簿記の初学者も多いので、言葉をできる限りはっきりとし、丁寧な説明を心掛けている。簿記は理解するだけでなく、演習問題を繰り返し実施しないと身につかない科目であるが、授業の中で、十分な演習時間を取ることに難しさを感じている。</p>	<p>授業評価 3.70 回答率 21.5</p> <p>簿記は、勘定科目を言語として用いている。勘定科目を理解すれば、ほぼ全てのことが理解できる。勘定科目は、漢字を見れば、おおよその意味はわかるものであるが、近年は、漢字圏でない国からの留学生が増えているため、理解が難しそうである。用語の意味の説明等に時間がかかり、やはり演習問題を解く時間の確保が難しいが、できる限り、時間の確保に努めていきたい。</p>
専門ゼミナールⅢ	<p>達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p>	<p>前期には、実際の企業の財務諸表をもとに財務分析を進めようとしたが、ゼミメンバーの会計知識の差が激しく、進められなかったため、上場企業の決算書を読むのに必要な会計知識を補うよう輪読を行った。そのため、インゼミまでに時間がとれなくなったので、企業の財務分析をスピーディーにできるように、エクセルファイルを用意した。そのファイルに順次入力することで、スムーズに財務分析ができるとともに、テキストの理解が深まったように思われる。</p>	<p>授業評価 2.60 回答率 33.3</p> <p>インゼミ前のドタバタが、授業評価につながったと考えられる。ただし、インゼミの発表内容からは、学習内容の理解ができていたと感じた。今後は、時間配分に注意しながら、授業を進めていきたい。</p>
卒業研究	<p>達成目標 財務会計に関するテーマ設定、テーマに沿った資料収集・文献読解、卒業論文の作成をとおして、財務会計を体系的に理解できる。</p>	<p>留学生だけのゼミナールとなった。ウェブ上の資料の切り貼りで論文を作成しようとするので、論文のストーリーの立て方や、資料収集、文献読解について指導するのに苦慮した。時間をかけて、何度もやり直しをさせ、毎週報告するという形式をとった。</p>	<p>授業評価 5.00 回答率 50.0</p> <p>就職活動等により欠席することが多く、その度に、一からの指導となった。1・2年次から、基本的なレポートの書き方について、徹底的に指導する必要性を強く感じた。</p>
S191083 グリーンマーケティング	<p>地球環境問題への対応をはじめ、企業の社会的存在を念頭においたマーケティングのあり方を理解し、実際に行われているマーケティング活動に対して関心をもち、自分自身でグリーンマーケティング戦略を考えることができるようになる。地球環境問題に関する必要な教養と職業的倫理観を身につけ、地球環境問題への対応をはじめ、企業が社会的存在として対応するマーケティング・マネジメントができるようになる。</p>	<p>4年生対象の科目のため受講人数が少ないので、マーケティングに関する知識を中心に、3年生までに学習した授業内容と関連した事を 個々の学生に質問しながら授業を進め、知識の定着に努めた。緊張感を持って授業に臨む学生には、自分の知識の再確認ができ良かったと思うが、単位取得が目的で受講する学生には厳しかったと思う。</p>	<p>授業評価:4.20</p> <p>アンケートに答えた学生が1名のため、おそらく頑張ってきた学生からの評価であると推察する。就職活動で欠席する学生が重なると授業の進行に影響が出るので、欠席した学生のフォローをしっかりとしながら、3年生までに学んだことも定着するように進めていきたい。</p>
S191048 販売管理論	<p>販売管理についての基本的な考え方や専門用語を理解し、小売経営の基本的な要素について答えることができるようになる。ビジネスパーソンとして、販売管理の専門知識を主体的に身につけることで、企業や会社で実際にマネジメントができるようになる。</p>	<p>小売業のマーケティングを軸に、学生に質問を投げかけながら、学生自身が日々の買い物場所をイメージし、授業内容と対比できるように努めた。学生も自分の身近な事であるので、理解し易やすかったと思う。</p>	<p>授業評価:4.86</p> <p>受講生の約半数からの評価であるが、予想以上の好評価を得た。身近な内容なので分かりやすかったと思う。これからもこの方法を踏襲し、事例をできる限り多く示して、より理解が進むようにしていきたい。</p>
S191056 専門ゼミナールⅡ	<p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>履修者が3名のため、それぞれの関心事について調べ、まとめ、パワーポイントを使用して発表させる方式で進めた。発表内容について、質問し話し合い、レクチャーしていった。学生自身の良く知っている分野を扱うように取り組んだので、積極的に取り組んでいたと思う。</p>	<p>授業評価:4.00</p> <p>履修者が少ないので、一人ひとりの状況に合わせて進めることができるため、今後もこの点は続けていきたい。もう一方で、ゼミ全体で議論するようなテーマ設定も多くして、より学習を深めるようにしていきたい。</p>

S191056 専門ゼミナールⅡ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	履修者が3名のため、それぞれの関心事について調べ、まとめ、パワーポイントを使用して発表させる方式で進めた。発表内容について、質問し話し合い、レクチャーしていった。学生自身の良く知っている分野を扱うように取り組んだので、積極的に取り組んでいったと思う。	授業評価:4.00 履修者が少ないので、一人ひとりの状況に合わせて進めることができるため、今後もこの点は続けていきたい。もう一方で、ゼミ全体で議論するようなテーマ設定も多くして、より学習を深めるようにしていきたい。
S191088 専門ゼミナールⅣ	自分のテーマに基づいた研究成果を効果的に伝えるコミュニケーションができるようになる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的な判断力で自分の関心テーマについて考えることができるようになる。	卒業論文のテーマを決めるための準備という位置づけで、それぞれが関心のある事柄について情報収集し、まとめ、発表を行った。どのような情報があるのかについて、インターネットだけではなく、文献検索の指導に努めた。	授業評価:3.40 就職活動で欠席する学生もあり、みんなで議論する場があまり持たず、なかなかテーマを決めることができない学生もいたので、専門ゼミナールⅢやインゼミなど3年生から意識して指導していきたい。
S191027 専門ゼミナール入門	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	ゼミナールという学習が初めての学生に対し、自己紹介から始め、一人ひとりの関心があること、経営に対する興味を深めさせ、それぞれの学生とゼミ全体の活動が活発になるように心掛けた。しかし、1年次に欠席過多等で主体的にゼミ選択を行わなかった学生が多く、全体的な活動はできなかった。	授業評価:3.00 ゼミ入門という位置づけでは、ほぼ個人指導に近い状態だったので、ゼミの楽しさというものが感じられなかったと思う。メンバーにもよるが、「ゼミに出席することが楽しい」と思えるような授業内容を考えていきたい。
L191046 キャリアデザインⅤ	就職活動の準備としてインターンシップ参加に必要な書類を作成し、志望動機、自己紹介文を作成できるようにする。インターンシップに参加し、記録を作成できる。 近づいてきた就職活動対策を意識し、プレ社会体験としてインターンシップに参加し、仕事や就業に対する理解を深める。	インターンシップに行くための準備として、インターンシップの重要性や心構えをしっかりと伝えるように心掛けた。個々の学生に対して、実習先の選択やエントリーシートの作成指導を丁寧に行うように努めた。	授業評価:4.00 概ね良好な評価を得たので、これまでと同様な方式で続けていきたい。
S192003 経営と流行	過去から今日に至るまでの経営手法を理解することができる。 時代に適応したビジネスモデルを理解することができる。	明治時代から今日に至るまでの企業経営において、各時代における中心的な経済・産業政策や事業運営の手法を解説することで、将来を考え、未来へとつながる経営の視点を持てるように努めた。	授業評価:3.97 この授業は、留学生対象の授業として行ったので、授業内容以前に言葉の面での難しさがあったと思われる。今後は事例とともに、留学生にも分かりやすい言葉で伝えることに一層留意したい。
S192024 流通論	流通に関する基礎的な用語を理解し、流通の基本的要素や流通のあり方について、専門用語を活用して説明することができるようになる。 商品の売買活動に関する知識を主体的に学ぶことを通して、企業や会社で実際にマネジメントができるようになる。	私たちの生活用品がどのようなルートで生産者から届くのかをイメージできるように話すことを心掛けた。しかし、小売業は身近なため理解できたようであるが、接することがほぼない卸売業は分かり難いようであった。流通の役割や必要性については理解できたと思う。	授業評価:3.40 流通は身近な分野であると思うが、「難しい」という学生の声を聞くので、学生の理解度を質問等を通して把握し、わからない点を明確にして丁寧に説明し理解できるようにしていきたい。
S192030 専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。	専門ゼミ入門に続いて、学生一人ひとりの関心があること、経営・企業活動への興味を深め、学生の理解度を確認しながら指導するように努めた。ゼミ生に休学者等が出て人数が少なくなり、最終的には1名となったので丁寧な指導ができたと思う。	授業評価:4.60 個別に指導を受けた学生の評価であると推察する。概ね良い評価を得ているので、人数が少なればこのスタイルを続け、多くなった場合には、ゼミ全体としての活動(互いの意見交換等)を活発にできるようにしたい。
S192048 消費者行動論	消費者の購買行動の仕組みを理解し、消費者行動について説明できるようになること。そして、消費者問題に関する知識を習得し、現代の消費者に求められる事柄について自分の意見が言えるようになる。 消費者のニーズに適合した商品やサービスを提供するために、買い手である消費者について、必要な知識を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントができるようになる。	自分自身が日々行っている購買行動について、改めて考えてみるような授業が展開できるように努めた。自立した消費者になる素養も養われたと思う。	授業評価:3.85 興味を持って学習できた部分とそうでない部分があるように見受けられるので、関心が薄いと感じられるような内容については、事例を多く使用するなどして対応していきたい。

S192061 専門ゼミナールⅢ	<p>経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>専門ゼミナールⅡに続いて、経営・企業活動・マーケティングといった分野で個々の学生が自分の関心事について情報収集し、まとめ、発表することの力を向上できるように心掛けて指導した。4年生に向けて、卒業論文の作成手順や考慮すべき点について理解できたと考える。</p>	<p>授業評価:5.00</p> <p>受講生1名の回答のため、その学生からは良い評価を得たが、他の学生の中には参加状況が極めて悪いこともあり、それらの学生には指導ができていない。学生個々の事情もあるが、ゼミに参加した学生には、これからも丁寧な指導を続けていきたい。</p>
S192086 卒業研究	<p>自分のテーマに基づいた研究成果を卒業論文にまとめ、報告することで、高いコミュニケーション能力を発揮できるようになる。ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身につけ、総合的な判断力で、自分のテーマについて考え、発表することができるようになる。</p>	<p>就職活動でゼミ生が全員揃うことが難しい状況だったため、特に後半は個人指導が多くなった。各ゼミ生の卒論研究の進捗状況に合わせて指導を進めた。学生の就職活動状況により、時間調整をして授業以外の個別指導を行い、完成できるように努めた。</p>	<p>授業評価:4.60</p> <p>概ね良好な評価が得られた。個々の進捗状況に応じてゼミ時間以外の指導も行った結果、6人中5人は単位取得できたが、1人が不合格となった。その原因は、学生に対する寄り添い方に問題があったと考えられるので、学生一人ひとりの性格をもっと考慮しながら対応することを心掛けたい。</p>
専門ゼミナールⅣ	<p>①ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につける。</p> <p>②総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>3年次までは、現代企業がどのような管理・組織・戦略を採用しているかについて理論や事例を用いながら考察しますが、4年次は、その成果を基にしながら卒業論文を作成していきます。</p> <p>具体的には、卒業論文作成のための資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションを行い、卒業論文の作成の見通しを指導できたと評価する。</p>	<p>授業評価=5.00</p> <p>専門科目で、「経営者の思想」「企業の理念」等の研究を通じて、人と企業、社会のつながりを意識するよう、丁寧に指導している。近年は留学生のゼミ生も多く、母国の経営者、企業を研究する学生が増えてきたので、私自身大いに勉強になっている。</p> <p>どのゼミについてもいえることであるが、個々の学生に、丁寧に、個性を尊重しながら、最終的には所期の目的である卒業と就職あるいは進学等を達成できるよう、真摯に指導していく所存である。</p>
社会学概論	<p>①社会学のメインテーマである「近代化」について理解できる。</p> <p>②歴史上の出来事、あるいは遠い異国の出来事として捉えるのではなく、それらが皆さんの身の回りで起きていることと密接につながっているということを理解できる。</p>	<p>社会学のメインテーマである「近代化」について学びます。遠い歴史上の出来事、あるいは遠い異国の出来事として捉えるのではなく、それら学生自らの身の回りで起きていることと密接につながっているということを理解し、その実態を自分の目で確かめてみる考え方、手法についても指導できたと評価する。</p>	<p>授業評価=4.67</p> <p>教職課程の履修者対象の科目のため、履修者が数人と少ないので、個別指導のような感じで指導している。</p> <p>ただ、若干評価が下がっているのは、「難しい」授業のような印象を与えている点にあると考える。今後は、「話し方や課題に関しても、わかりやす授業」という印象を持ってもらえるように心がける所存である。</p>
専門ゼミナールⅡ	<p>①経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>②ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につける。</p> <p>③総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>経営学に関する知識は、さまざまな側面があります。企業の戦略の成否について分析したり、財務状況について理解したり、企業を取り巻く経済環境に関する情報を仕入れたり、IT機器を用いて情報処理をしたり、グローバル化の時代として多言語を扱ったり、あるいはスポーツチームのマネジメントについて考えたりと、多岐にわたります。本講義では、グループワークを中心にしながら、各種の経営的知識について自律的に学習し、グループワークを中心にして授業を進め、各自の理解力を高めることができた」と評価する。</p>	<p>授業評価=5.00</p> <p>経営学部の専門科目を学び始める最初のゼミであり、丁寧に、個々の学生に対応するよう心掛けている。</p> <p>特に大切にしているのは、2年生を修了時に、3年4年と2年間で何をしたいのか、将来どんな仕事がしたいのか、そのためには何を学ぶべきか、については「どの先生のゼミで、3年4年の2年間学びたいのか？」をじっくりと考えさせるゼミとして運営している。</p> <p>専門ゼミナールⅠより評価が高いのは、うれしい限りであるが、今後とも「個々の学生」を視野に、授業改善に努める。</p>

<p>専門ゼミナールⅡ</p>	<p>①経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ②ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につける。 ③総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>経営学に関する知識は、さまざまな側面があります。企業の戦略の成否について分析したり、財務状況について理解したり、企業を取り巻く経済環境に関する情報を仕入れたり、IT機器を用いて情報処理をしたり、グローバル化の時代として多言語を扱ったり、あるいはスポーツチームのマネジメントについて考えたりと、多岐にわたります。本講義では、グループワークを中心にしながら、各種の経営的知識について自律的に学習し、グループワークを中心にして授業を進め、各自の理解力を高めることができたと評価する。</p>	<p>授業評価＝5.00 経営学部の専門科目を学び始める最初のゼミであり、丁寧に、個々の学生に対応するよう心掛けています。特に大切にしているのは、2年生を修了時に、3年4年と2年間で何をしたいのか、将来どんな仕事がしたいのか、そのためには何を学ぶべきか、については「どの先生のゼミで、3年4年の2年間学びたいのか？」をじっくりと考えさせるゼミとして運営している。 専門ゼミナールⅠより評価が高いのは、うれしい限りであるが、今後とも「個々の学生」を視野に、授業改善に努める。</p>
<p>S191059 専門ゼミナール入門</p>	<p>①経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。 ②問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。 ③総合経営学科の専門教育を履修していく自立的学習を支援するために、経営における総合的判断力を育てます。</p>	<p>経営を主体的に学習していく志向性とそのためのスキルを身に付けます。担当教員から提示される様々な話題や資料を題材に、こうした題材をいかに理解し、そこにどのように問題を見定めるかを学習します。同時にゼミの学習を通じて、問題意識を持つこと、及び情報収集能力・論理的思考力・プレゼンテーション能力を各自が主体的に養っていくことを狙いとします。また、地域を対象としたPBLも実施します。 具体的には、経営を主体的に学ぶために、各自が問題発見、課題設定、情報収集、調査企画実施、結果整理等を行い、問題解決への提言を行うことができるよう、指導ができたと考えます。</p>	<p>授業評価＝4.11 経営学部の専門科目を学び始める最初のゼミであり、丁寧に、個々の学生に対応するよう心掛けています。特に大切にしているのは、2年生を修了時に、3年4年と2年間で何をしたいのか、将来どんな仕事がしたいのか、そのためには何を学ぶべきか、については「どの先生のゼミで、3年4年の2年間学びたいのか？」をじっくりと考えさせるゼミとして運営している。 評価が高いのは、うれしい限りであるが、まだ満足していない学生があるようなので、今後とも「個々の学生」を視野に、授業改善に努める。</p>
<p>L191049 倫理学</p>	<p>①良き人柄の形成、健全な社会の形成、自然と人間との共生に資する倫理について、基本的な理解を得る。 ②造形倫理と経営倫理についても考え、理解できる。</p>	<p>人間と社会との関係において問われる従来のさまざまな倫理的問題のほかに、医療、環境、情報、職能などに関する新しい倫理的問題が問われてきています。人が「より善く」生きるための行為と規範の関係を考え、こうした問題を自分自身で倫理的に判断し行動できることのできる基礎はやしなうことができたことと評価する。また、造形倫理と経営倫理についても考える気合が与えられた評価する。</p>	<p>授業評価＝4.07 履修者人数が多い科目にかかわらず、意外と他回評価のために、驚いている。 ただ、毎回「板書が見にくい」等の改善要望が出ているので、少しでも学生の要望に応えられるよう改善する所存である。</p>

L191008 地域実習	<p>①本学が位置する三河地域との交流を図りながら、様々な実習を通じて、課題解決の方法について理解をすることができる。</p> <p>②社会人基礎力を身につけることができる。</p> <p>③課題研究に関する学習ポートフォリオを作成することができる。</p>	<p>「三河ものづくり学」で学習した地域・産業・生活について、さまざまな角度から調査・分析・評価を学生自らが設定した課題に基づいてケーススタディとして実習を行ないます。これにより現実の課題・制度・慣習などを見据えながら提案・意見発表などによって地域・産業・社会に問いかけを行なうアウトリーチ型の実習とします。実習そのものは学部・学科を超えたグループワークによるプロジェクトチームを展開、それぞれの専門知識を特定の課題に対していかに対応するかを学びます。各行事への参加を通して、上記の教育目標は達成できたと評価する。</p>	<p>授業評価＝3.00</p> <p>毎年10名前後にお学生在履修しているが、丁寧に一生懸命指導しているが、またできる限り「書を捨てて社会に！」のスローガンのもとに、実践的授業を展開しているが、授業評価も低く、まだまだ「市民と交流する」ことが苦手な学生もいると思われる。</p> <p>そこで、その導入部分をより一層楽しくするなど、改善をおこなう予定である。</p>
S192037 専門ゼミナール I	<p>①経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身につけられるようになる。</p> <p>②問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身につけられるようになる。</p>	<p>経営を主体的に学習していく志向性とそのためのスキルを身に付けます。担当教員から提示される様々な話題や資料を題材に、こうした題材をいかに理解し、そこにどのように問題を見定めるかを学習します。同時にゼミの学習を通じて、問題意識を持つこと、及び情報収集能力・論理的思考力・プレゼンテーション能力を各自が主体的に養っていくことを狙いとしています。また、地域を対象としたPBLも実施します。</p> <p>具体的には、経営を主体的に学ぶために、各自が問題発見、課題設定、情報収集、調査企画実施、結果整理等を行い、問題解決への提言を行うように指導できたと評価できる。</p>	<p>授業評価＝4.43</p> <p>経営学部の専門科目を学び始める最初のゼミであり、丁寧に、個々の学生に対応するよう心掛けている。特に大切にしているのは、2年生を修了時に、3年4年と2年間で何をしたいのか、将来どんな仕事がしたいのか、そのためには何を学ぶべきか、については「どの先生のゼミで、3年4年の2年間学びたいのか？」をじっくりと考えさせるゼミとして運営している。</p> <p>専門ゼミナール入門より評価が高いのは、うれしい限りであるが、まだ満足していない学生があるようなので、今後とも「個々の学生」を視野に、授業改善に努める。</p>
S192060 専門ゼミナール III	<p>①経営的思考能力・総合的経営判断能力を身につけ、企業や会社で実際にマネジメントできる。</p> <p>②ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につけ、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>経営学に関する知識は、さまざまな側面があります。企業の戦略の成否について分析したり、財務状況について理解したり、企業を取り巻く経済環境に関する情報を仕入れたり、IT機器を用いて情報処理をしたり、グローバル化の時代として多言語を扱ったり、あるいはスポーツチームのマネジメントについて考えたりと、多岐にわたります。本講義では、グループワークを中心にしながら、各種の経営的知識について自律的にできるよう、グループワークを中心に指導し、その力を養うことができたかと評価します。</p>	<p>授業評価＝5.0</p> <p>経営学部の専門科目を学び、いよいよ3年から4年のゼミ選択のために「何を専門に学ぶか」を明確にする時であり、丁寧に、個々の学生に対応するよう心掛けている。特に大切にしているのは、3年4年と2年間で何をしたいのか、将来どんな仕事がしたいのか、そのためには何を学ぶべきか、については「どの先生のゼミで、3年4年の2年間学びたいのか？」をじっくりと考えさせるゼミとして運営している。評価がこれ以上ないという程高いのは、うれしい限りであるが、まだ満足していない学生があるようなので、今後とも「個々の学生」を視野に、授業改善に努める。</p>

S192085 卒業研究	<p>①ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身につける。</p> <p>②総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。</p>	<p>3年次までは、現代企業がどのような管理・組織・戦略を採用しているかについて理論や事例を用いながら考察してきましたが、4年次は、その成果を基にしながら卒業論文を作成していきます。</p> <p>具体的には、卒業論文作成のための資料収集、プレゼンテーション、ディスカッションを行い、14週目までに、卒業論文の完成と、2月の発表までに、十分指導できたと評価する。</p>	<p>授業評価＝5.00</p> <p>専門科目で、「経営者の思想」「企業の理念」等の研究を通じて、人と企業、社会のつながりを意識するよう、丁寧に指導している。近年は留学生のゼミ生も多く、母国の経営者、企業を研究する学生が増えてきたので、私自身大いに勉強になっている。</p> <p>どのゼミについてもいえることであるが、個々の学生に、丁寧に、個性を尊重しながら、最終的には所期の目的である卒業と就職あるいは進学等を達成できるよう、真摯に指導していく所存である。</p> <p>卒業論文の作成に関しても、懇切丁寧な指導に心がけている</p>
L192005 哲学 (A)	<p>①自己と世界と関わりについての人知の歴史を理解し、説明することができる。</p> <p>②ものごとを多面的かつ根源的に考えることの意義を理解し、表現することができる。</p> <p>③最終的な解答のない営みが、人間生活のなかで果たす役割や意義を理解し、研究することができる。</p>	<p>自然環境や人間社会、自分自身の生の営みについて、ふだんは自明とされている事柄をどのように「考える」ことがこれからの生き方を意味あるものにするかという視点から、「考える」ことそのものへの問いからはじめ、自己と世界と関わりについてのこれまでの人知を学ぶとともに、ものごとを多面的かつ根源的に考えることの意味と意義を理解できるように、指導できたと評価する。</p> <p>また、造形や経営のような、最終的な解答のない営みが人間生活のなかで果たす役割や意義についても、考える機会を与えられたと評価する。</p>	<p>授業評価＝4.15</p> <p>履修者人数が多い科目にかかわらず、意外と他回評価のために、驚いている。</p> <p>ただ、毎回「声が聞きにくい」「板書が見にくい」等の改善要望が出ているので、少しでも学生の要望に応えられるよう改善する所存である。</p>
L192006 哲学 (SD)	<p>①自己と世界と関わりについての人知の歴史を理解し、説明することができる。</p> <p>②ものごとを多面的かつ根源的に考えることの意義を理解し、表現することができる。</p> <p>③最終的な解答のない営みが、人間生活のなかで果たす役割や意義を理解し、研究することができる。</p>	<p>自然環境や人間社会、自分自身の生の営みについて、ふだんは自明とされている事柄をどのように「考える」ことがこれからの生き方を意味あるものにするかという視点から、「考える」ことそのものへの問いからはじめ、自己と世界と関わりについてのこれまでの人知を学ぶとともに、ものごとを多面的かつ根源的に考えることの意味と意義を理解します。また、造形や経営のような、最終的な解答のない営みが人間生活のなかで果たす役割や意義をも考えます。</p> <p>具体的には、テキストやプリント等の正確な読み取りを中心に、適宜受講生へ質問を行い、講義を進めます。授業内容の定着度を確認のための数回課題ワークシートを実施します。</p>	<p>授業評価＝4.07</p> <p>履修者人数が多い科目にかかわらず、意外と他回評価のために、驚いている。</p> <p>ただ、毎回「声が聞きにくい」「板書が見にくい」等の改善要望が出ているので、少しでも学生の要望に応えられるよう改善する所存である。</p>

L192028 倫理学	<p>① 良き人柄の形成、健全な社会の形成、自然と人間との共生に資する倫理について理解する。</p> <p>② 基本的な理解を得ると共に、造形倫理と経営倫理についても理解する。</p>	<p>人間と社会との関係において問われる従来のさまざまな倫理的問題のほかに、医療、環境、情報、職能などに関する新しい倫理的問題が問われてきています。人が「より善く」生きるための行為と規範の関係を考え、こうした問題を自分自身で倫理的に判断し行動できることの方の基礎はやしなうことができたことと評価する。また、造形倫理と経営倫理についても考える気合が与えられたことと評価する。</p>	<p>授業評価=4.06</p> <p>履修者人数が多い科目にかかわらず、意外と他回評価のために、驚いている。</p> <p>ただ、毎回「声が聞きにくい」「板書が見にくい」等の改善要望が出ているので、少しでも学生の要望に応えられるよう改善する所存である。</p>
L192039 哲学 (S)	<p>① 自己と世界と関わりについての人知の歴史を理解し、説明することができる。</p> <p>② ものごとを多面的かつ根源的に考えることの意義を理解し、表現することができる。</p> <p>③ 最終的な解答のない営みが、人間生活のなかで果たす役割や意義を理解し、研究することができる。</p>	<p>自然環境や人間社会、自分自身の生の営みについて、ふだんは自明と思っている事柄をどのように「考える」ことがこれからの生き方を意味あるものにするかという視点から、「考える」ことそのものへの問いからはじめ、自己と世界と関わりについてのこれまでの人知を学ぶとともに、ものごとを多面的かつ根源的に考えることの意味と意義を理解します。また、造形や経営のような、最終的な解答のない営みが人間生活のなかで果たす役割や意義をも考えます。</p> <p>具体的には、テキストやプリント等の正確な読み取りを中心に、適宜受講生へ質問を行い、講義を進めます。授業内容の定着度を確認のための数回課題ワークシートを実施します。</p>	<p>授業評価=3.70</p> <p>履修者人数が多い他の科目と比較して、評価が他より低い原因として、改善要望が書かれている「声が聞きにくい」「板書が見にくい」、そして「一部学生がやかましい」等の改善要望が出ているので、少しでも学生の要望に応えられるよう改善する所存である。例えば、やかましい学生たちについては、数回の授業後、指定学生の「特別席」も設けるなどの授業改善も考える。</p>